

# GUIDE BOOK 2020

Department of

Mathematics,

Physics,

Chemistry,

Biology,

Japanese Language,

English Language,

# VERI

Tokyo Pure Science and Philo



## 自らの頭を使う場としての授業

分かりやすいとされるショーのような授業では、授業を受けた満足感はあるでしょうが、自分の力がついたわけではありません。ヴェリタスでは、きれいで分かりやすい解答を示しておしまいでなく、その解答へどうやったら自分でたどり着けるのかのプロセスをじっくり自らの頭で考えてもらいます。受け身ではなく、自分の頭を使う場所としての授業になっているのです。

## 真に効率的な勉強とは

### 1. 曖昧さを排除すること 2. 歴史を追うように学ぶこと

ヴェリタスの各教科では、「何を」「どのような順序で」「どのように学べば」、効率的に、無論それのみでなくより深い理解を得ることができるのか、将来の役に立つのかという議論を重ねた末、カリキュラムが組まれています。そして、そのために重要なことは二つであると結論づけています。

一つは、曖昧さを一切排除し、些細なことであっても一切略すること無く、すべてを1から構築してみること。このことにより、知識がないから分からないのか、そうではなく自分で考えることによって分かることなのかの見当がつくようになり、わき上がった疑問を放置せず自問自答し続けることができます。もう一つは歴史を追うように学ぶこと。新しい概念を学ぶ際、先人がどのようなプロセスを経て、その概念に至ったのか、それを追体験することが真の理解への最短距離です。これは独りでとても難しいことですが、良い講師と良き仲間巡り会えば中高生であってもそれほど大変なことではありません。自らでその概念をつくる体験をすれば決して忘れることはなく、いつか新しい概念を自分で作る時に役に立つことでしょう。この体験こそが、いわゆる発想力につながるものです。

## 専門書を使いこなし、ひとりでも学んでいける力の養成

難解な専門書を、一人で読みすすめてゆく力。これこそが、大学に入るまでに身につけなければならないボーダーラインです。ヴェリタスでは、自分の力で「文章の行間を補っていく力」を、各教科を題材として育成します。

## CONTENTS

### INTRODUCTION

- 2 10年後の自分を設計する1年になる
- 4 具体的にどんな1年にしたらよいか

### INTERVIEW

- 2 高校生編
- 3 社会人編
- \* 大学生編
- 2018年合格者から2019年合格者へのリレーインタビュー形式
- 6 [Vol.1] 16 [Vol.2]
- 24 [Vol.3] [Vol.4] 32 [Vol.5]

### COURSE INFORMATION

8	数学科受験コース上級[U4・U3コース]	数 学
10	数学科受験コース中級[U2・U1コース]	
12	数III速習コース	
14	数学科 各テキストで学ぶこと&添削例	
18	物理科受験コース	理 科
20	化学科受験コース	
22	生物科受験コース	
26	英語科受験コース上級[Aコース]	英 語
28	英語科受験コース中級[B・Cコース]	
30	英語科 授業のバックアップシステム&添削例	
34	現代文・小論文科受験コース	国 語
36	古文・漢文科受験コース	

### VERITAS INFORMATION

- 38 [在籍者データ編 No.1] どの科目を塾で受講するか戦略
- 39 [在籍者データ編 No.2] 初回授業と最終授業の印象、全科目ラインナップ
- 40 [在籍者データ編 No.3] 卒業生による高校両立サポート状況 居住地区在籍者状況&交通アクセス
- 41 授業外サポート編
- 42 館内案内と学習環境編
- 44 講師データ編
- 46 卒業生進学先編
- 47 塾長のことば
- 48 2020年受験科募集要項

ヴェリタスには付加価値がある

探してみよう  $+V$   $+V$   $+V$   $+V$

本文の中の  $+V$  のついているところを拾い読みするだけでヴェリタスにはどんな **プラスアルファ(+V)** があるかわかるようになっていきます。



## 色々な視点を覚える

今まで持っていた解き方に限定されずに、新しくその問題をどういう方向から見るかができるかなあって、それを立ち止まって考えるようになりました。例えば、軌跡とか領域とかの問題見て、図形に帰して傾きとして考えてみたり、あと相加相乗使ったりとか。数学に対していろんな武器を持って、色々な視点を養えるのがヴェリタスの授業のいいところだと思います。数学をより理解することを優先して、高校範囲を通り越して大学範囲に入っちゃうことがあるんですが、逆にその方がすごくわかりやすいし、今まで自分が当たり前だと思っていた枠にとらわれずにもっと深くまで行ける場所が好きです。

## ヴェリタスは切磋琢磨できる場所

ヴェリタスはみんなで切磋琢磨できる場所だと思っています。周りを見るとみんな勉強して、みんな同じように夢に向かって頑張ってるから、自分もやる気が出るし、お互い助け合いながら数学とかをより理解できるようにしていくから、楽しみながら勉強できるなって。ただ問題を解いてるだけじゃなくて新しい知識を得たり、他の人が同じ問題に対してどう思ったかとか意見を聞けたりするのが興味深いんです。自分と同じかそれより高い人しかいないので、上にどんどん引っ張られてる感じがします。



鈴木 春菜 さん  
東邦大学付属東邦高等学校 数学を受講

高橋 徳真 さん  
海城高等学校 数学/英語/物理/化学を受講



## 覚えるだけでなく、理解する

自分は深いところまで理解するのが苦手なので、公式暗記で当てはめて問題を解くことに集中していくほうが合っていると思ってたんですけど、まずは解ければいいやって思って解くだけに集中していても、あとにノートに戻ってみると理解が進むことがありました。覚えるだけでなくそれを理解するっていう。なんでそうなるかを知ってる公式の方がただ覚える公式より自分の武器として使いやすいですよね。この考え方はこの基礎的な公式の考え方と一緒にだっという視点からその問題を見ることができるようになる。そのためには公式を最初から理解することも必要な、って思いますね。

## 学校の友達と違う「勉強仲間」

生徒同士がディスカッションしているのが新鮮でした。みんな一つの問題にそれぞれの視点からアプローチしていくのを、楽しんでやっています。「こどうやって解いた?」みたいなことを授業中や、授業が終わった後に話し合ってるのが力になります。一緒に切磋琢磨できる友達が作りやすい環境だから「あいつが頑張ってるから俺もやろう」みたいに思えたりしました。学校の友達と違って、みんな勉強を軸にここに来ていて、勉強を通じて友達ができた勉強仲間っていう意味では学校よりもいいですね。互いにお前には負けないぞ、というライバルみたいな関係がヴェリタスの友達の特徴だと思います。ヴェリタスに来て、勉強するのは全然苦じゃなくなりました。

## 丸暗記しないことが近道

丸暗記をしないっていうのは、受験生の中でも特に僕は違った勉強法をしているなあって思いますね。公式として暗記していたものを、そもそもその背景にどういう話があるって、なんでその公式を作ろうって思ったのかっていうのをどんどん追求していくって。暗記すりゃ楽なのに、遠回りじゃんって思っても、実際はそうやってやるからこそ、公式に当てはまらないときに応用が利くって。文系数学って暗記だっていわれるんですけど、そうじゃない数学をヴェリタスで理系の人と追求できたからこそ、割と自分の数学に自信が持てるようになったし、やって楽しくなりました。

## 一步踏み込んだ勉強ができるようになる

例えば、世界史とか自分でやっていると、自分の中でも疑問をもってそれを追求出来るってことがあるんですよ。教科書の文章の中で国民って言葉が出てきたときに、普通に国民って使っちゃいますよね。だけど、その時代に本当に国民って言葉がふさわしいのか?そもそも国民って言う意識、国民国家っていうその領域を意識している時代っていつから始まるんだろう?みたいなところを、教科書では触れられてなくても自分で自分の中で疑問をもって追求して。そうやって理解を深めていく姿勢っていうのはヴェリタスで身についたものなのかなって思います。



西山 知樹 さん  
本郷高等学校 数学を受講

古内 ゆめか さん  
東京都立日比谷高等学校 数学/英語/物理/化学を受講



## 4つの違ったアプローチから使える英語へ

受験科の英語に関しては、ほんとに得たものが大きいなあって。受験科Aだと、春学期だと4つの教材があるんですけど、どれも性格が違って。長文をとにかくやる授業と、逆にとても簡単な短文から文法で文を一瞬で訳せるようにする授業、英文法を徹底的に演習する授業、あとはこんなの入試で本当に出るのかと思うくらい難しい和訳の授業。一見全部バラバラに見えるんですけど、4つの違う方法全てが問題を解くときに総合して使えるようになっていくので、いろんなやり方から攻めていって最終的に受験問題を解くときに役に立つようになっていくのは、すごくよかったなと思っています。

## 勉強することで見えるものが変わってくる

学習が対象にしていることをどうやったら理解できるようになるのか、その過程を追っていくようになるのが勉強の素晴らしいところだな。今までの勉強に対する大変とか疲れるとかのネガティブな気持ちから、勉強することで見えるものも変わってくると肯定的に捉えられるようになったことが、この塾に入って一番よかったなと思っています。あと、暗記によるというよりは、とにかく甘い理解をすてて厳密にやることを重視しようと言われるので、その場しのぎじゃなくて自分に厳しく、授業でやったことを理解しなければならぬという姿勢を持ってました。それによってむしろ、勉強する上で視野が広がっていく楽しさを得られたので、これからも本当に自分が理解してないことは何なのか常に考えていきたいです。

## 生徒と患者、どちらも、こちらの言葉ひとつの重さが、そのまま伝わっていきます

(加藤さんは、生徒として、そして、大学進学後は講師スタッフとしてもヴェリタスに関わってきました。)

教える中で「こちらの言葉ひとつの重さが、そのまま相手に伝わっていく」ということ、そして、「一人ひとりを見つめていく姿勢は、講師としても医師としても同じ」ということを、強く実感しています。診断の際、どのような言葉で説明をするか、また、患者さんをまとめて扱うのではなく、その一人ひとりに合わせて診ていく、このスタンスは、まさにヴェリタスで身に付けたものとして、いまの自分の根っこになっていますね。

## 状況はどんどん変わっていく、常に勉強し直すことも多い

循環器の、特に不整脈の仕事で最近ですが、医学では「なんでかわからないけど、こうすると良くなっちゃう」とか、そういうのも多分にある。その中でいかに筋道立てて自分の中で整理していくかが大事だし、状況に応じて勉強し直すことも多い。一生、受験勉強つらいんですよ。そういう、どういう風に物事を考えていくか、どういう風に勉強していくか、そういう基本的なスタイルを作ってくれたことが、生徒時代のこの塾での一番の体験だったかなと思います。限られた時間の中でどこまで突き詰められるかとか、考え続ける体力とか。



医師(循環器内科)  
加藤 信孝 さん (ヴェリタス2期生)  
開成学園高等学校卒→東京医科歯科大学医学部医学科卒  
横浜南共済病院勤務

建築設計士  
北村 知佳子 さん (ヴェリタス3期生)  
桜蔭学園高等学校卒→東京大学工学部建築学科卒  
大手建設会社勤務



## 一流の人はずっと考え続ける

建築の設計をやっています。設計って、全然関係のないことを考えたりしながら、建物以外の理想のあり方みたいなことを考えて作るんですけど、そういうのが良いなあって。基本的には始め形にすんなってないし、紙の上や頭の中でぐちゃぐちゃ考えてるだけなんですけど、そういう時間が好きなんです。ヴェリの先生達ってそういう人が多いですよね。思ったのは、多分ヴェリタスで学んだ人っていうのは、形のないものを考えるのが好きになっていったんじゃないかなって。ずっと考え続けるね。ずっと考え続けるか、それとも考えついたときにずっと考えたものがある時結びついて形になる時があったりとか、貯めていたものがこぼれ出すところから出てくるのか、いずれにせよ楽しいし、それが出来る人が一流なんだと思う。

## 概念の取り扱い方を教えてくれた

形にならないものって、魅力的だけど、取り扱いがわからなくて、普通高校生くらいの時って敬遠しちゃったりじゃないかな、私もそうだった気がする。数学なんて、現実の物体というより認識そのものだから(もちろん当時はそう思ってなかったですが(笑))、まさに形というものがなくて、もしヴェリタスで習わなかったら数学は面白いものだったと思う。逆に言えば、数学を通して、形にならないもの扱い方、自分の認識そのものの楽しみ方を教わったんだと思います。数学は認識そのものを扱っていて、形にならないまま考え続ける人か、形に帰っていくのは素敵だなって。今、建築でも、自分が何を通してものを見ているかを認識出来たら面白いんじゃないかなって、そう考えるとき、一番建築つらい(笑)。そういうとき、形のないものから、形が生まれていくのだと思います。

## 自分の人生で初めての大きな決断を下すそのとき、本気で背中を押してくれた

私の仕事は、外務省で、アジア諸国の政府開発援助をみて、日本が発展途上国に対して、どういった分野にどれ位の支援するかという、経済面の協力を考える仕事です。国際的な仕事に就きたいという夢を叶えられたのは、行動力がポイントだったと思います。

私は、開成園の大学進学ではなく京都を選びましたし、また海外留学も自分の意志で行くことができました。しかしそれは簡単なことではありませんでした。家族の反対が強かったからです。その時、支えになったのがヴェリタスでした。たくさんヴェリタスの先生に相談して、いろいろな意見を聞き、その上で背中を押してもらいました。自分の人生で、初めての大きな決断を下すそのときに、先生は本気で向き合ってくれてアドバイスをくれました。だからこそ私は、自分の意志を貫き通せたのだと思います。

今でも、留学する際や公務員試験、就職が決まったときなど、折に触れてふらっと立ち寄る場所です。そんな信頼関係と頼れる居場所を、両方ともヴェリタスで見つけることができ、私は本当にラッキーだったと思います。



外交官  
塚田 実貴子 さん (ヴェリタス6期生)  
女子学院高等学校卒→京都大学総合人間学部国際文学系卒  
外務省勤務

自動車開発  
巨 誠之 さん (ヴェリタス5期生)  
開成学園高等学校卒→東京大学工学部航空宇宙工学科卒  
東京大学大学院工学系研究科修了 大手自動車会社勤務



## ヴェリタスで鍛えられた「原理まで突き詰める姿勢」は今でも忘れない

私は今、モビリティメーカーの技術開発部門で働いています。自分の作ったものが毎日製品になって出荷されていき、人に直接使ってもらえることにやりがいを感じています。もの作りの仕事において必要とされる、原理を迫る姿勢、感覚や思いつきだけでなく、その思いつきを裏付けるために、根本から考え、論理的に組み立てて人に説明するという力は、ヴェリで養われたなと実感しています。

そもそも一からやれるということに魅力を感じてヴェリに通うことになりました。それまで数学については、とにかく問題数をこなさなければという感覚があり、疑問が生じると、すぐに解答を見てわかったような気になっていましたが、ヴェリに通い始めてからは、「表面だけさらってでも仕方がない、この一問でとにかく深くじっくり勉強しよう」という意識を常にもつようになりました。出てくる分からないことをひとつひとつぶっついていって、納得できるまでとことん時間をかける姿勢は、間違っていなかったと思います。

今、後輩に語れるとしたら、自分が興味を持ったことや、やりたいこと、ゆずれないと思った事は、とことん突き詰めてみるべきだということ。今思えばその姿勢が、大学に入ってから自分の自信や忍耐力につながったし、物事の本質に近づける最短の方法だと思っています。

【昨年の欄に高3で登場したお二人をリレーインタビューでピックアップしています。】

バランスよく身に付けるべきこと —受験科の理念—

Education Philosophy

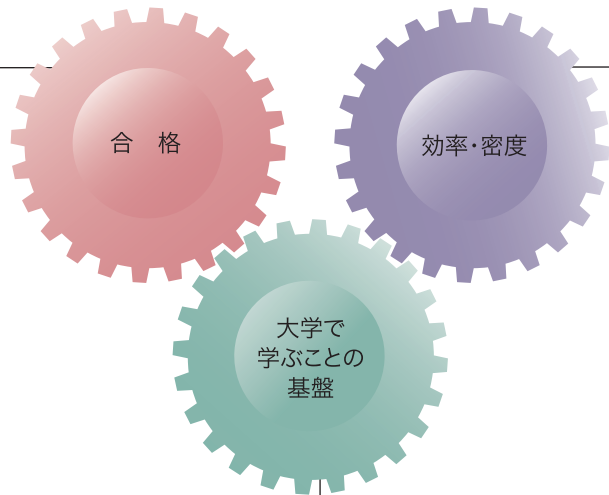
合格

1月からはじめる、1年完成ならではの余裕

- 1 科目間の勉強時間のバランスの重視
- 2 具体的に、どの時期にどの段階まで進んでいるべきかのベースの徹底
- 3 最後の4ヶ月間、連続全16回模試状態による実戦力得点力強化

によって、在籍者の、27.0%が東大・京大・東工大・一橋大、27.8%が医学部医学科、22.8%が早慶へ進学を達成しています。

※詳細は卒業生進学先のページP50をご覧ください。



10年力

1 タイムマネージメント力

今後いかなる職業につくせよ、要求されることは、1日24時間(睡眠時間をぬいて16時間)の中で、期限までに、「やらなければならないことを、いかに質を下げずに終わらせるか?」ということ。大半の人にとって、このことを真剣に考える初めての機会となるのが大学受験です。学校の授業、学校行事、部活、自分の勉強、塾の授業、塾の復習、生活時間、息抜きの時間、これらをどのように扱い、いかに自分の勉強と塾の復習に時間を割くかを、担当講師が親身に相談にのりながら、一步一步進んでいきます。来春、受験が終わる頃には、「一生の中で最も貴重と言っても言い過ぎでない、タイムマネージメント力を身につけることができるでしょう。(この力は「わかちやれるけどやめられない」という言葉に象徴されますが、現代人が大人でも子どもでも、何かを成し遂げるには、越えなければならない最も大事な壁です。これを18歳という早い時期に身につけるこそ「受験の意味」と言えるでしょう。)



2 わかるということの厳密性

自らの「わかる」の甘さを知ることが、大学以降の学問を扱う第一歩です。何となくわかった、だいたいわかるは、実はほとんど使えない物になります。1つの基準としては、「自分の弟妹や、自分よりこの教科が苦手な友達」を想定して、今わかったことを説明できるか? があげられます。この力は、効率密度の①を支える力であり、特に1、2月にこのことをとても大事に扱います(例えば、どうしてここでエネルギーが保存すると言えるのか? とか、なぜ現在完了以外ではこのことが表現できないのか、など常に問かけます)。わかるということの厳密さを、受験という様々な場面を通じて身につけていくことで、より効率的な、かつより深い理解につなげることができ、受験勉強の中盤からの実力の伸びも大きく支えます。

3 独学力

最終的には、授業というものがなくても、何かを学んでいけるようにならなくてはなりません。そのためには、どういふ力が必要なのか、ということに常に念頭におき、カリキュラムが構成されています。例えば、「何を前提とし、どのような論理で結論を導き出しているのか」「この概念をつかった先人はどのような問題意識をもっていたのか」を常に明確にする姿勢を貫き、難解な専門書を一人で読みすすめていく力を1つの基準としています。

効率

1 授業内でわからないことはない状態にする、このことから生まれる復習の高密度化

「一切ごまかしのない、かゆいところに手が届く解説、そしてそれがゆえに生じる圧倒的なわかりやすさ」と、「宿題にまわすのではなく、授業の中で考える時間を充分にとるというシステム」により、授業終了時には、当日やった内容には一点の曇りもない、という状態に仕上げるのがヴェリタスの授業です。上記の二本を柱とし、より個別に、休み時間・終了時間後を利用した個別指導をもって、クラス全員が一点の曇りもない状態で、帰途につくということを実現しています。家で行うことは、わかったことを忘れてしまわない様に定着させる作業だけです。わからないところを家で考えよう、というほど非効率な勉強はありません。非常に、具体的に密度の高い復習ができるように指導しています。

2 いきあたりばったりの解き方に落ちらない為の、解法の構造化

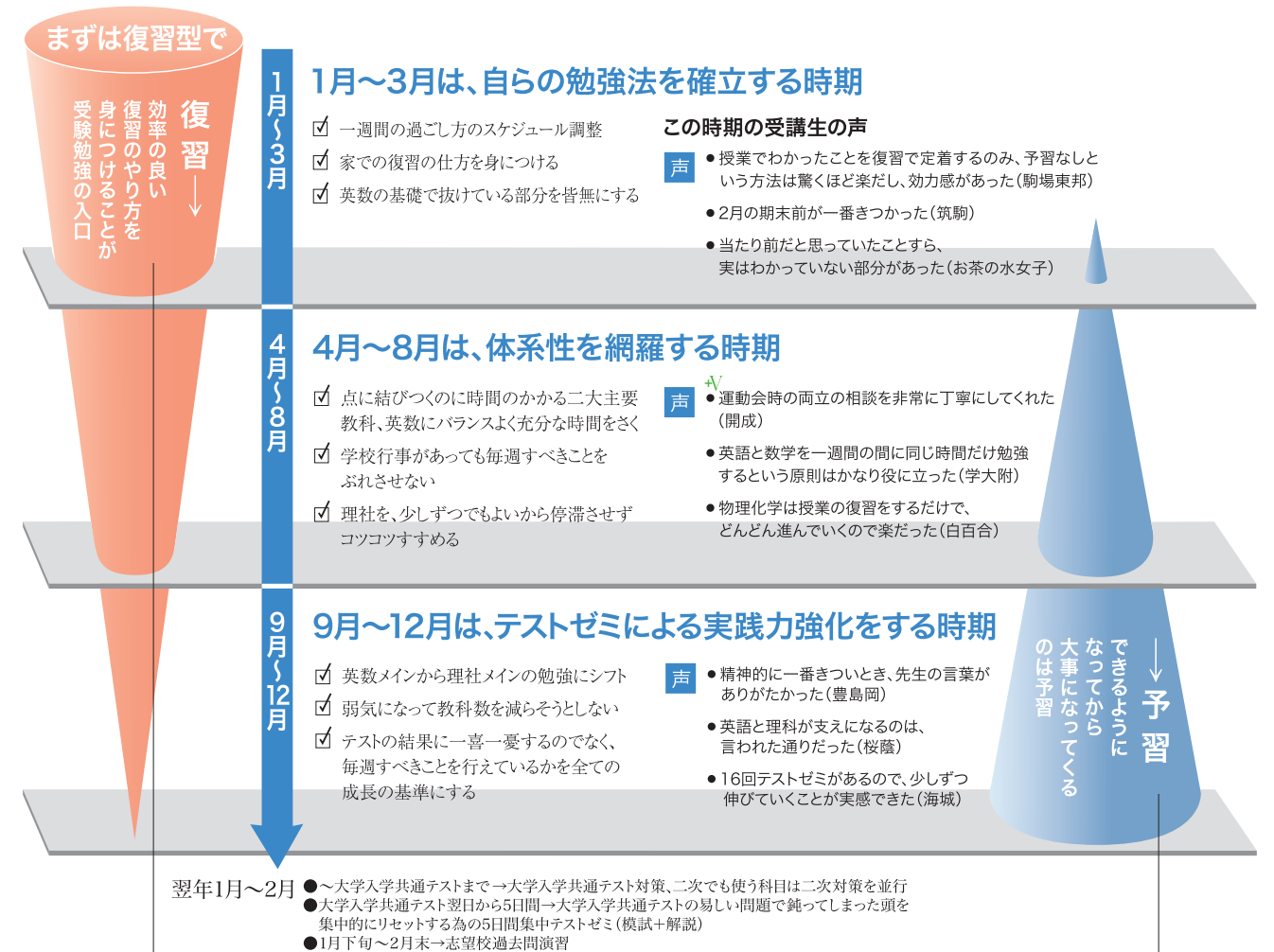
当日の体調に依存しない、解くスピードの不安定さをおこさない、問題による得点のばらつきをおこさない、ために、やや速回りに見えるかもしれないが、ヴェリタスでは基礎固めをとても大事にしています。ここでいう基礎とは、数学でいうなら、「定義(きめごと)の理由」「定理(公式)の存在意義」、物理でいうなら「法則(公式)と法則の関係」、英語でいうなら「まとも(熟語や訳等)で意味をとるのではなく、一語一語の役割を言語化する理解」などです。このことを特に1月~2月の期間に大切に扱い、十分な基礎を身につけた上で、次のステップにすすみます。次の3~4月からは、突然複合した問題を解くのではなく、1つの問題が1つの事柄を問うているという良問の反復によって、解法手法を、1つ1つ着実に網羅定着し、その次に複合した問題にすむという、解法の必然性が自然にわかるカリキュラムになっています。

3 問題の質を高めることによる、問題量の最小化

二度手間を防ぐことを常に意識した、扱う問題の配列の最適化、そして問題の質の整備により、最少の問題量で実力がつくようにテキストがつくられています。そのため、歴代の卒業生のコメントを見てわかりますが、通っている教科に関して、市販の問題集に手を出す必要はありません。

具体的学習計画

A Year for the entrance examination to Univ.



【復習】—わかつたことを忘れない、二度手間防止—

自分でやろうとしても手がつかない、もしくは、何らかの壁を感じているがゆえに塾に通うものです。ですから、初期の段階では、予習など一切必要なく、この復習こそが何より大事なこととなります。左記の、効率密度の①と絡みますが、復習は密度が何より大事です。復習の密度を高めるには、「授業でわからないことを残して家には帰らない」の徹底がまず決め手になります。授業でわからないことが残っていれば、復習の時間が異常にかかるばかりか、結局は、理解の深さも達成できません。あくまで、復習は「わかつたことを忘れないよう定着する」作業です。極端なことを言えば、英語の授業1時間の復習は、しっかりとしたチェックシートを授業中作成すれば、15分もかからないことでしょう。全訳を書いてみるなど、自己満足、時間の浪費以外の何者でもありません。各クラスの初回の授業は、各科目に応じた、効率の良い復習の方法の説明から入ります。復習のやり方を身につける、このことがまず効率の良い受験勉強の入り口となります。

【予習】—できるようになつてから、大事になつてくる勉強—

後半の時期になればなるほど、上位クラスになればなるほど、復習より予習が重要になります(逆に言えば、前半の時期や下位のクラスでは予習は必要ありません。予習ができるくらいならば、塾に通わなくても何とかできるでしょう)。予習の段階で、自ら脳に汗をかきつつしっかり考えれば考えるほど、授業での吸収の質が高まります。自分がどうして解けなかつたか? は、実は、18年間の個々人の癖による部分も多い為、漫然と授業を受けているだけでは非常に非効率です。自らの問題点を、ぐちゃぐちゃな状態で構わないので、意識的にも無意識的にも強烈に認知する予習はとても大事なことです。



もつと  
と  
さつと  
と

「自分とは違う人の考えが  
たくさん入ってくるのが面白い」

東京大学理科1類1年  
西田 奎太 さん (開成学園高等学校卒業)



「模索して何かにたどり着く」



東京大学理科1類2年  
高木 優作 さん  
(開成学園高等学校卒業)

### 自分とは違う人の考えがたくさん入ってくるのが面白い

U4でのディスカッションの話で、自分の中では定石どおりに解いたつもり  
の問題でも全く別の方法で解く人がいて面白かったです。例えば格子  
点の数を教える問題とか、自分なんかは結構真面目に教えるタイプな  
んですけど、それを楽な方法教えてる人もたくさんいて、「真面目」ってい  
うのは別に地道にやっていくって意味ではないんだなって、そういう  
のは勉強になりました。他にもすごい厳密性にこだわる人がいて、例えば  
普通に「 $A \Rightarrow B$ 」って書いたら「本当に $\Rightarrow$ になっているの？」って聞かれたりし  
て。自分は試験中、ハイになって本当は気にすべき過程を飛ばしちゃ  
うことも結構あったので、すごく印象的でした。彼みたいな精度で疑問を  
抱いてそれを解消していく人がいるんだなと。そういう風に他の人の意見  
を聴いている時がこの講座の価値を感じる瞬間でしたね。それにやっ  
ぱり一人て解くより、他の人のいろんな意見が入ってくる方が面白いです。

### 解法のプロセスを体験できる

正直僕は数学できないタイプだったんですけど、みんなで授業中に問  
題の解法をその場で考えて、その自分で考えたプロセスを全部書いて  
いくっていうのは、有り難かったです。こんな風に考えてるんだなってい  
うのが分かって。結局自分が数学苦手だったのって「この問題が出た  
らこう解く」っていう丸暗記的な飛躍があったせいなのかなと思います。  
ヴェリタスではその飛躍の部分を先生や友達から説明してもらえた  
のでちゃんとプロセスが踏まれていることがわかってよかったです。

### 納得しながら吸収できる

微分の授業のところでリミット(極限)の定義の話先生から振られて、  
その時僕は答えられなかったんですけど。その分からないところから  
ひとつひとつ、なんでそれを考える必要があるのかっていうところから  
始まって、例えばネイピア数(自然対数の底)もこうだからこう定義しよ  
うっていう感じで進めてちゃんとやってくれたので、無理なくあの数III  
の微積範囲の内容が頭に入った気がしますね。やっぱり「これはこうい  
う定義だから」っていきなり言われても納得はしづらいので、納得を  
しながら新しいことを学べるとやりやすいです。

# 数 学 科

## 数学科 上級(U4・U3)

「論理と発想の往還」  
東大の問題であったとしても調子が悪くても8割、良ければ満点をとるために

## 数学科 中級(U2・U1)

「数学概念の再構築から始める」  
信じるのは自らで考えられたことのための徹底

知っているから解けるでなく、自分で考えて思いつけるという  
自らの頭がよくなっっていく楽しい体験をするために。

# 数学科受験コース・上級 (U4・U3コース)

[開講日] 2020年1月6日(月) 以降毎週月曜日 17:00~

## 論理と発想の往還

東大の問題であったとしても調子が悪くても8割、良ければ満点をとるために

### U4

本格的に数学を学び、直感と論理能力を高め、<sup>AV</sup>どんな問題をもひとりで解ききる数学力を養成するためのコースです。東大前期といえども、8割得点を確実にする(すなわち調子が良ければ満点をねらえる)ことをめざします。どんな問題でも解けるようになりたいという野心的な人に向いています。数学的な背景を学ぶと共に、本質をついた良問へ試行錯誤を行い、<sup>AV</sup>考える体力を養います。意欲ある文系の参加も歓迎しています。

### U3

東大理、文、国立医学部志望で、現時点で標準的な数学力のある人を対象とするクラスです。1~3月で入試に必要な解法手法を網羅させ、その後、難問へのアプローチを行うU4クラスと標準的な問題の解法精度を高めるU3クラスを選択することが可能です。9月以降はテストゼミを行い、決められた時間内での答案作成能力を養成します。

### 春学期 1月~3月

#### I 基本テクニックの完全網羅

[U4・U3合同] 定義・定理を確認しつつ、入試問題を解く上で重要な「論理」「式の見方」の基本手法を網羅していきます。1つの式に対して如何に同値のまま、解ける形に持っていかれるかということに重点を置き、それぞれの問題には一対一に対応する類題が宿題としてつけられています。

- 講義形式 / 使用テキスト『大学入試基本演習』
- 3月中旬のクラス分け試験によってU4、U3、U2を決定します。

#### ▼春学期で学ぶテキスト

1月・2月

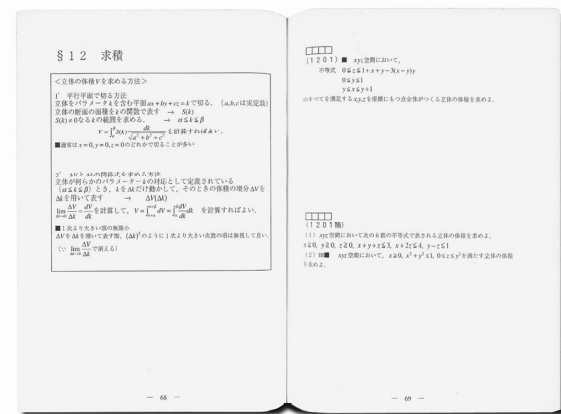
- テキスト名『大学入試基本演習』
- 第1講 論理の利用 (数学における論理とは? 有用性は?)
- 第2講 式の扱い (一つの式も様々な見方がある)
- 第3講 数の性質と整式 (合同式も含む)
- 第4講 三角・指数・対数関数
- 第5講 ベクトルとベクトル方程式 (外積等の導入も含む)
- 第6講 整関数の微積分 (微積分の基本定理、区分求積、高次関数等)
- 第7講 和を求める原理、漸化式の扱い方 (離散関数の取り扱い)
- 第8講 数え方、確率の考え方

3月(春期集中)

- テキスト名『大学入試基本演習補遺』
- 第9講 対称性
- 第10講 式を見る視点
- 第11講 連続関数と離散関数
- 第12講 証明法
- 第13講 同値性の議論
- テキスト名『数III 高校数学分野別総整理』
- 第14講 微積分における関数の拡張
- 第15講 様々な求積
- 第16講 多変数から多変数への写像
- 第17講 複素平面における図形の移動
- 第18講 2次曲線の分類

#### ■使用テキスト

- ◎大学入試基本演習
- ◎大学入試標準演習
- ◎大学入試論点講義



〈1年間の大まかな流れと講義予定〉

### 夏学期 4月~7月

#### II 数学の構造と発想法を学ぶ

[U4] 未知の問題の解法をいかにして見つけるかを講義します。様々な手法の整理を行い、それをいかに自らの手足として新しい使い方ができるのかを探り、各数学概念が必然的に持つ構造を感覚的に、そして論理的にとらえてもらいます。並行して、テストを通じて、捉えられた手法・構造をいかに使うのかを学んでもらいます。

[U3] 入試標準問題の様々な形に慣れ、一見、見た目が異なる問題も、実は同一のことを言っている問題なのだと思える力を養成します。近年の入試標準問題の形式をすべて網羅します。

- 講義+テスト形式 / 使用テキスト U4『大学入試論点講義』
- 講義+演習形式 / 使用テキスト U3『大学入試標準演習』

### 夏学期 8月

#### III 思考の飛躍の時

[U4] 実際に近年出題された入試問題のなかから、論理が必要なものと発想が必要なものと、それぞれ実戦演習を行います。主に東大・京大の入試問題を扱います。

[U4 for 理系] 数III範囲の演習量を補うために『数III編 大学入試標準演習』講座も行います。

[U3] 4月~7月にU4で行った問題のうち重要な数学概念を含むものをピックアップしてテストゼミ形式で演習を行います。

- 演習形式 / 使用テキスト U4『東大・京大論理発想数学』
- テスト形式 / 使用テキスト U3『入試数学上級テストゼミ』
- 8月中のクラス分け試験によってU4、U3、U2、U1のクラス替えが行われます。

#### ▼夏学期で学ぶテキスト

4月~7月

講義	前週範囲の実力テスト
第1講 これからの数学の勉強の仕方 (数学構造と脳構造)	第1講 (初講日なのでテストはありません)
第2講 整数 —実数との大きな違い—	第2講 整数実力テスト + 解説添削
第3講 整式 —一次数をめくって—	第3講 整式実力テスト + 解説添削
第4講 論理 —形式と意味の往復—	第4講 論理実力テスト + 解説添削
第5講 不等式 —形による縛りの大きさ—	第5講 不等式実力テスト + 解説添削
第6講 ベクトル —線形性をめくって—	第6講 ベクトル実力テスト + 解説添削
第7講 軌跡・領域 —像形成の構造—	第7講 軌跡・領域実力テスト + 解説添削
第8講 関数とグラフ —視覚化の手法—	第8講 関数とグラフ実力テスト + 解説添削
第9講 三角逆三角・指数対数 —関数の融合—	第9講 三角逆三角・指数対数実力テスト + 解説添削
第10講 最大・最小 —像形成の構造2—	第10講 最大・最小実力テスト + 解説添削
第10講 [for 理系] 複素平面 —線形と非線形—	
[for 文系] 確率標準演習	
第11講 [for 文系] 確率標準演習2 積分—微小世界と現実世界の往還—	第11講 [for 理系] 複素平面実力テスト + 解説添削
第12講 求積—微小世界と現実世界の往還2—	第12講 積分実力テスト + 解説添削
第13講 数列—実数との大きな違い2—	第13講 数列実力テスト + 解説添削
第14講 場合の数 —整数解モデル—	第14講 場合の数実力テスト + 解説添削
第15講 確率 —組合せと測度—	第15講 場合の数実力テスト + 解説添削
第16講 学期総括 発想はどこから生まれるのか	第16講 確率実力テスト + 解説添削

8月(夏期集中)

- 第1講~第5講 『数III編 大学入試標準演習』(理系) 『大学入試標準演習#テストゼミ』(文系)
- 第6講~第10講 東大・京大論理発想数学

※これはU4の例です。U3については別途ご請求ください。

### 冬学期 9月~12月

#### IV テストに徹底的に慣れる

実際の試験では、「問題を解く」能力だけでなく、「制限時間内に、採点者に理解される答案をかく」能力も求められます。この期間には、本番と同様の形式のテストを行ない、答案作成能力の養成とテスト慣れを目的とします。

[U4] 数I、II、III、A、B全範囲から「やや難~難」のレベルの問題を5問120分のテストを行い、その後解説、答案は添削して翌週返却します。

■テストゼミ形式 / 使用テキスト U4『大学入試実戦演習上級』

[U3] 数I、II、A、Bの範囲から「標準もしくは計算がやや難」のレベルの問題を5問100分、数IIIの範囲から「標準~やや難」レベルの問題を2問30分のテストを行い\*、その後解説。答案は添削して翌週返却します。

\*数IIIの問題は、授業の最後に扱うので文系等必要のない者は帰ってよい。

■テストゼミ形式 / 使用テキスト U3『大学入試実戦演習中級』

#### ▼冬学期で学ぶテキスト

- テキスト名『大学入試実戦演習上級』
- 9月以降は、テストゼミ形式となります。
- 4ヶ月間、連続16回模試状態
- テスト後即解説+添削指導
- (テストゼミの効果は驚異的です)



## Voice 卒業生の声

12月に入ってそろそろ過去問かなと思ひ、東大のを解いてみて、5完は軽くできる爽快感はたまらないものがあつた。大変だったが、夏学期の論点のおかげだと思う。(第11期生・巢鴨卒・東大理)

1月～12月

理系全65回・文系全55回

# 数学科受験コース・中級 (U2・U1コース)

【開講日】 2020年1月10日(金) 以降毎週金曜日 17:00～

## U2・U1

現時点で数学の基礎が不十分ではあるが、ここから難関大を目指す人の為のコースです。基礎から徹底的に積み上げるといことを行います。3月までは、各分野の「概念」「定義」「定理」「基本手法」を整理・導出し、自分で考えて解けるようになるための基盤を養成します。4月以降U2とU1では扱う問題の量及び解説のスピードが異なります。とにかくやった内容は完全に覚え、という意識を強く持つことが重要です。毎年、本コースからも努力した人は東大・国立医にも合格しています。

#1 理系で数III未習の人は数III速習コースをあわせて3月まで受講することをおすすめします。

#2 現在、数学の基礎が不十分であるが、4月以降U4を受講したい人は1～3月の間のみU4・U3コースを併せて受講することも可能です(要面談)。

信じるのは自らで考えられたことのみ。の徹底

# 数学概念の再構築からはじめる

## 春学期 1月～3月

### I 全分野の再構築

[U2・U1合同]

高校数学の各分野を構成する「概念」「定義」「定理」「基本手法」を整理・確認することを目的とする講義を行います。各セッション前半は、その分野にあらわれる「定義の確認」及び「なぜそのような定義されているのか」の解説を行い、そこから導かれる「全定理の証明」を行います。各セッション後半では、その分野の典型的な問題を解く「手法」の解説を行い、それぞれの手法につき問題演習を行います。

- 講義形式/使用テキスト 『高校数学分野別総整理#』
- 3月中旬のクラス分け試験によってU4、U3、U2、U1を決定します。(ここでU4に上がりたい人は1月～3月の間はU4・U3コースも併せて受講してください。)

### ▼春学期で学ぶテキスト

1月・2月

- テキスト名 『高校数学分野別総整理#』
- 第1講 2次式の本質
- 第2講 同値変形
- 第3講 いろいろな関数
- 第4講 真理集合と図形
- 第5講 内積の意味
- 第6講 和を求める原理
- 第7講 漸化式の扱い方
- 第8講 数え方の基礎

3月(春期集中)

- テキスト名 『高校数学分野別総整理#』
- 第9講 微分の意味
- 第10講 整式と微分
- 第11講 3次関数の周辺
- 第12講 求積と一次近似の関係
- 第13講 積分法への応用
- テキスト名 『数III 高校数学分野別総整理』
- 第14講 微積分における関数の拡張
- 第15講 様々な求積
- 第16講 多変数から多変数への写像
- 第17講 複素平面上における図形の移動
- 第18講 2次曲線の分類

〈1年間の大まかな流れと講義予定〉

## 夏学期 4月～7月

### II 基本手法の完全網羅

[U2]

定義・定理を確認しつつ、入試問題を解く上で重要な「論理」「式の見方」の基本手法を網羅していきます。1つの式に対して、如何に同値のまま、解ける形に持っていかれるかというところに重点を置きます。最初の5回は方程式と図形を通じて、「論理」「式の見方」を学び、残りの11回で分野毎に典型問題の講義及び授業内演習を行います。

[U1]

1月～3月の内容を授業内演習を通じて確認しつつ、ゆっくりと入試典型問題の解法を講義・演習します。

- 講義+演習形式/使用テキスト U2『大学入試基本演習』 U1『高校数学分野別総整理#』 U1『大学入試基本演習#』

## 夏学期 8月

### III 発想法

[U2]

4月～7月にU3、U4で行った問題のうち重要なものをピックアップして講義・演習します。

[U1]

4月～7月のテキストの復習を行います。

- テストゼミ形式/使用テキスト U2『大学入試標準演習#テストゼミ』 or U2『入試数学上級テストゼミ』
- 講義+演習形式/使用テキスト U1『大学入試基本演習#』
- 8月中旬のクラス分け試験によって、U4、U3、U2、U1のクラス替えが行われます。

### ▼夏学期で学ぶテキスト

4月～7月

- テキスト名 『大学入試基本演習』
- 第1講 論理の利用 (数学における論理とは?有用性は?)
- 第2講 論理の利用 類題テスト +解説添削
- 第3講 式の扱い (一つの式も様々な見方がある)
- 第4講 式の扱い 類題テスト +解説添削
- 第5講 論理の利用/式の扱い 実カテスト +解説添削
- 第6講 三角・指数・対数関数
- 第7講 三角・指数・対数関数 類題テスト +解説添削
- 第8講 ベクトルとベクトル方程式
- 第9講 ベクトルとベクトル方程式 類題テスト +解説添削
- 第10講 整関数の微積分(微積分の基本定理、区分求積、高次関数等)
- 第11講 整関数の微積分 類題テスト +解説添削
- 第12講 和を求める原理、漸化式の扱い方
- 第13講 和を求める原理、漸化式の扱い方 類題テスト +解説添削
- 第14講 数の性質と整式(整数と実数の違い)
- 第15講 数え方、確率の考え方
- 第16講 数の性質と整式/確率の考え方 類題テスト +解説添削

8月(夏期集中)

- テキスト名 『大学入試基本演習補遺』
- 第1講 対称性
- 第2講 式を見る視点
- 第3講 連続関数と離散関数
- 第4講 証明法
- 第5講 同値性の議論
- 第6講～第10講 『入試数学上級テストゼミ』 or 『大学入試標準演習#テストゼミ』 (どちらを受講するかは講師との面談で決定します。)

## 冬学期 9月～12月

### IV テストに徹底的に慣れる

[U2]

数I、II、A、B範囲から「標準もしくは計算がやや難」のレベルの問題を3問60分、数IIIの範囲から「標準」レベルの問題を2問30分のテストを行い\*、その後解説。答案は添削して翌週返却、答案作成能力の養成・テスト慣れを目的とします。また、I、II、A、Bの範囲から基本的な事柄を問う20分のスピード演習も毎回行い、短い時間でミス犯さない訓練を行います。

\*数IIIの問題は、授業の最後に扱うので文系等必要のない者は帰ってよい。

- テストゼミ形式/使用テキスト U2『大学入試実戦演習中級#』

[U1]

個々の弱点を補うことを目的として、個人指導を行います。使用する教材は受講生の志望大学・弱点分野に合わせて決定します。

- 個人指導形式

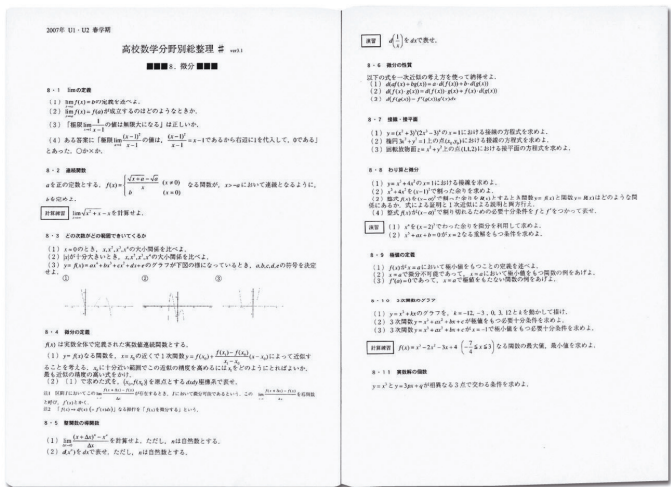
### ▼冬学期で学ぶテキスト

- テキスト名 『大学入試実戦演習中級#』
- 9月以降は、テストゼミナール形式となります。
- 4ヶ月間、連続全16回模試状態
- テスト後即解説+添削指導
- (テストゼミの効果は驚異的です)

## Voice 卒業生の声

- 4時間は長いと思ったけどあつという間だった。(開成)
- 1回で一分野のすべてをやってくれるのでありがたい。(女子学院)
- 細部まで丁寧なのでわかりやすい(筑駒)

受講生の感想の声は→(p.12)  
各テキストで学ぶことの詳細は→(p.14)



- 使用テキスト
- ◎高校数学分野別総整理#
- ◎大学入試基本演習
- ◎大学入試標準演習



1月~3月 全18回

# 数III速習コース (数学科受験コースオプション講座)

[開講日] 2020年1月12日(日) 以降毎週日曜日 16:45~

## 数III 全範囲を三ヶ月で

考え抜かれた学習計画・教材・講義が最短時間で確実な理解へ

数III範囲の前提知識は一切不要です(数IIの微積分の知識は必要です)。数III未修の人を対象として、1、2、3月の三ヶ月間で数III全範囲を導入、演習します。数III範囲はI、II、A、Bに比べて比較的易しく、受験標準レベルの問題は、この三ヶ月で解けるようにすることが十分に可能です。数III範囲では「極限とは何か」「一次近似としての微分」「三角、指数、対数関数の微分」「区分求積」「部分、置換積分」「パラメータ積分」「複素平面」「二次曲線」を中心に扱います。



受付横の白板を使って、数IIIの議論をかかわる生徒達の様子

**Q** 本科(U1、2、3、4)の数学との両立は大変ですか?

**A** 時間をかけて復習してほしい本科の数学とは異なり数III速習では授業中に出来る限り演習をすませ、授業外での勉強時間を最小限にとどめるようにカリキュラムが組まれていますので、大丈夫です。学校で数IIIを扱う時期の遅い国立公立校の人の多くが、本科と数III速習の両方を受講しています。

**Q** 本科(U1、2、3、4)をとらずに、数III速習のみ受講できますか?

**A** はい、できます。ただ、毎年、数III速習のみを受講した人の多くが、他塾と比較し結果として4月から本科編入を希望するのですが、もう三ヶ月分進んでしまっているため、その分を補うことにはかなりの努力を要することになります。数学が苦手な人ほど、1月からの受講をすすめます。また、どちらかしか受講できないとすれば、迷わず本科のみの受講をすすめます。

1月~12月 VOICE

## 数学科受験コース 時期別受講生の声

どんな一年間になったのか、少々細かい字ですが追ってみてください!

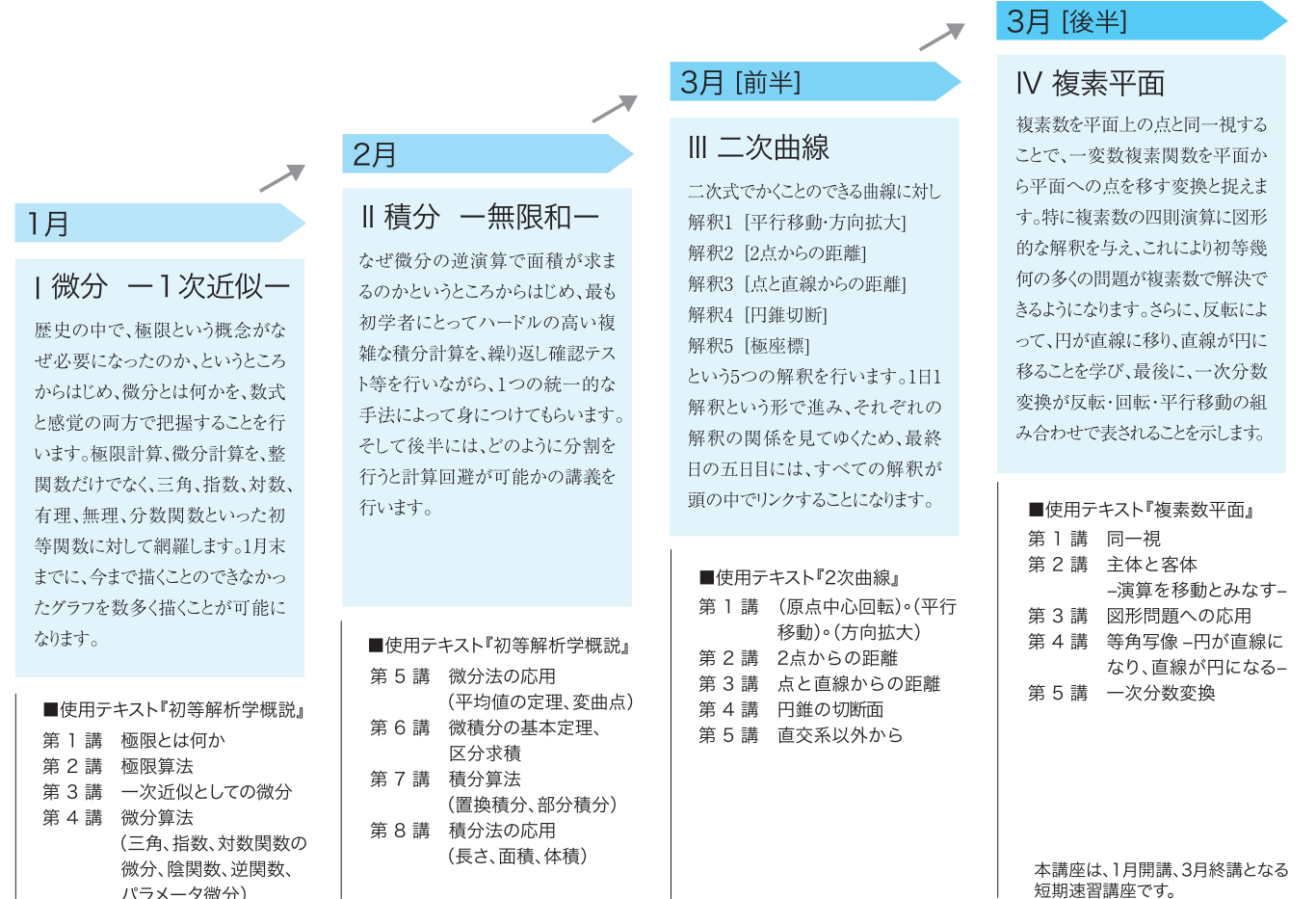
### 初回 の授業を受講してみた

- 自分がいかに甘んであるかわかった。一つ一つ疑問(これでいいのか、2乗していいのか etc)を持ちながら進んでいくべきだとわかった。(女子学院)
- 教科書のわからない言葉で構成されていた頭がきれいに引き出しに入った気分。あと、意外に4時間集中できる。(筑附)
- 思ったより一問が深く、自分の中ではあまいだった軌跡へのアプローチを確認できた。(筑附)
- 脳内実況をしているかのような解説の仕方がわかりやすかった。(麻布)
- こんな授業受けたことがなかったの楽しかった。(女子学院)
- 知っている知識で絶対解けるのに、すごい難しく感じる絶妙な問題が多かった。(学習院女子)
- ちょうどいい速さでよかった。楽しかった。(桜蔭)
- 「自ら講」といった感じで一応予習をしてみたものの自分の考えがいかに甘かったか思い知らされた。よい経験になった。結構大変だけど。(都立戸山)
- 非常に大事な内容がぎゅっと詰まっていた感激。(筑附)
- 今まで疑問に思わなかったところを「本当にそれでいいのか」とチェックしていったことが良かった。(女子学院)
- 考える“間”があったただノートを写すだけにならなかった。(雙葉)
- 扱い方等、根本からやり直してくれた良かった。(筑駒)
- ノートをたくさんとるのびびり!!でも復習もやりやすく、正確なので理解がしやすくなりそうであった。(都立日比谷)
- 基礎から説明してもらえたので、理解しやすかった。(跡見)
- 今までなにげなくついていた式の根本が分かった。(お茶の水女子)
- 数学の理論の説明が細かくてわかりやすかった。(白百合)
- 方程式と関数のわりあるきが面白かった。丁寧にやってくれたので、わかりやすかった。(雙葉)
- 1つ1つ考え方をていねいに説明してくれるのがいい。(駒場東邦)
- 1から基礎をたたき込んでくれるところがよい。(暁星)
- 公式の導き方も含まれていて根本から理解できた。(芝)
- 考え方に至るまでの考え方が明解だった。(筑駒)

### 2ヶ月 受講してみた

- 今まで何となく理解していたことや、結果だけおぼえてついていたものが、自分で導けるようになることは、喜び以外の何者でもない。(開成)
- 解法を導くまでの過程が今までとは違うやり方が多くて良い。わかりにくいところを二度説明してくれる。(跡見)
- 己のアラを徹底的に見つけられる。(暁星)
- 内積のとらえ方が漠然と公式に従ってやっていたのがハッキリしてうれしかった。ただ覚えて当てはめて解くタイプの勉強をしていたので、全てにおいて納得のいく解説を聞いて、数学に以前よりも興味があわようになった。是非次も先生の授業を受けたいです。(女子学院)
- その計算に至るまでの過程をよく理解出来て良かった。毎回の授業が楽しみだった。(都立日比谷)
- 詳しい定義を参照せずに使っていた公式・性質・解法等の根拠が理解できて良かったと思えます。(筑附)
- 問題の根本の部分から教えてくださるので、今まで分からなかったところがとてもよく分かるようになり色々な問題と繋がるようになりました。(中央大学附属)
- 文字が出てくる問題に慣れたような気がする。(白百合)
- 数学が深く分かった気がする。(成蹊)
- 勉強するようになった。(開成)
- わからない所をしっかりと教えてくれる。(立教新座)
- なぜのように考えるか、その立式になるかが分かった。方針がたえられるようになった。(都立白鷗)
- ものさし最高!!ベクトル恐怖症が治った(つもり)先生わかりやすすぎです!!ありがとうございます。(女子学院)
- 同じ問題を別のアプローチで解いたりますのが楽しかった。(女子学院)
- 1月に入った時は右も左もわからなかった数学が、この2ヶ月で核となる指針を作ることができたと思う。(桐朋)
- このテキストを完璧にすれば間違えるほど数学できそう。(筑駒)
- わかりやすい。質問しやすい。(武蔵)
- 自分がどれだけ何もわかっていないか嫌というほどよくわかりました。でも、必ずどうしてそうなるのかの説明があったので、じっくり考えたら理解できて、視野が広がる感じがした。(芝)
- 自分がどれだけ何もわかっていないか嫌というほどよくわかりました。でも、必ずどうしてそうなるのかの説明があったので、じっくり考えたら理解できて、視野が広がる感じがした。(芝)
- 数学が分かってきた……ように思います。てゆうか分かりました……多分。すくなくとも好きになりました。1年間、先生の授業が受けられるよう頑張ります。ホントにもう先生の授業以外受けたくないです!!(笑)!(女子学院)
- 基礎部分の不安がなくなった。(白百合)

<3ヶ月の大まかな流れと講義予定>



### 1月 I 微分 — 1次近似—

歴史の中で、極限という概念がなぜ必要になったのか、ということからはじめ、微分とは何かを、数式と感覚の両方で把握することを行います。極限計算、微分計算を、整関数だけでなく、三角、指数、対数、有理、無理、分数関数といった初等関数に対して網羅します。1月末までに、今まで描くことができなかったグラフを数多く描くことが可能になります。

- 使用テキスト『初等解析学概説』
- 第1講 極限とは何か
  - 第2講 極限算法
  - 第3講 一次近似としての微分
  - 第4講 微分算法 (三角、指数、対数関数の微分、陰関数、逆関数、パラメータ微分)

### 2月 II 積分 — 無限和—

なぜ微分の逆演算で面積が求まるのかということからはじめ、最も初学者にとってハードルの高い複雑な積分計算を、繰り返し確認テスト等を行いながら、1つの統一的手法によって身につけてもらいます。そして後半には、どのように分割を行うと計算回避が可能かの講義を行います。

- 使用テキスト『初等解析学概説』
- 第5講 微分法の応用 (平均値の定理、変曲点)
  - 第6講 微積分の基本定理、区分求積
  - 第7講 積分算法 (置換積分、部分積分)
  - 第8講 積分法の応用 (長さ、面積、体積)

### 3月 [前半] III 二次曲線

二次式でかくことのできる曲線に対し 解釈1 [平行移動・方向拡大] 解釈2 [2点からの距離] 解釈3 [点と直線からの距離] 解釈4 [円錐切斷] 解釈5 [極座標] という5つの解釈を行います。1日1解釈という形で進み、それぞれの解釈の関係を見てゆくと、最終日の五日目には、すべての解釈が頭の中でリンクすることになります。

- 使用テキスト『二次曲線』
- 第1講 (原点中心回転)。(平行移動)。(方向拡大)
  - 第2講 2点からの距離
  - 第3講 点と直線からの距離
  - 第4講 円錐の切斷面
  - 第5講 直交系以外から

### 3月 [後半] IV 複素平面

複素数を平面上の点と同一視することで、一変数複素関数を平面から平面への点を移す変換と捉えます。特に複素数の四則演算に図形的な解釈を与え、これにより初等幾何の多くの問題が複素数で解決できるようになります。さらに、反転によって、円が直線に移り、直線が円に移ることを学び、最後に、一次分数変換が反転・回転・平行移動の組み合わせで表されることを示します。

- 使用テキスト『複素数平面』
- 第1講 同一視
  - 第2講 主体と客体 —演算を移動とみなす—
  - 第3講 図形問題への応用
  - 第4講 等角写像 —円が直線になり、直線が円になる—
  - 第5講 一次分数変換

本講座は、1月開講、3月終講となる短期速習講座です。

夏期集中授業「入試数学上級テストゼミ」

### 8ヶ月 受講してみた

- 問題が良い。奇問や難解な計算を要するものはほとんどなくて、正しい見方さえすれば驚くほど楽に解けるものばかりだった。(桜蔭)
- このテストゼミを受けて、問題を解く時、自分がほとんど何も考えずにやっていることがよく分かった。解答用紙に書く前に、問題の本質を見抜くこと、じっくり考えること、試行錯誤して、どのやり方が一番楽かを考え出すこと、がびどく欠けていると感じた。問題を解き始める以前の問題だった。初めに思いついた方法に固執しすぎた感じがした。(芝)
- やっぱり数学は積み重ねの学問だと思った。基礎事項+考えることで、やっと数学の問題が解ける、というプロセスを知り、考え続けることの重要性を認識できた。テストは難しかったけれど、考える楽しさを得られたので良かった。(開成)
- どうしてまちがえたのか、を単につまづいた所のさらいなおし?という観点でみていくのではなく、自分のくせと向き合うということから吸収できていくのが大事なのだと教わりました。(桜蔭)
- これまでの知識をつかって、多少複雑になった問題を解きほぐしていきながら答えにたどりつく、というところに面白さを感じた。受講前はどこまでできるかがわからずかなり不安だったけれど(特にU2からの参戦であったから)、得たものは大きいように思う。(慶應志木)
- 自分が何を考えて解くのかを考えると、試行錯誤して、自分の復習不足だった。この授業を受けて、数学について今まで一番充実した内容だった。(都立小石川)
- 自分の問題を解くことで、考える力の甘さが知れた。一問の中で学ぶ事の多さに気付かされた。一問一問をじっくり振り返る機会ももてた。解説を聞いて、視点を変えてみることであっさり解けてしまう問題もあって感動した。五日間のテストを受けて、まだ自分は、前の問題から吸収できていないことが沢山あることを知った。(白百合)

### 最終授業 (12ヶ月) アンケート

- 授業の復習をするだけで数学がわかるようになり、面白く感じる。家では自然とやりたいという気になっていました。
- U4クラスでは下の方でしたが必死についていくうちに、少しずつ実力がついていくのを実感できました。数学の本質をついた非常に内容の濃い授業で、本当に楽しかったです。
- もともと数学が好きだったので、今このクラスに通っていること、いっそう数学が面白く感じる。ホントに数学がキラキラ人な感じがわかんないけど少しでも興味があったり実力を伸ばしたいと思う人なら、来れば楽しいと思う。先生達も面倒見の良い人ばかりだし。
- だんだん、まぐれじゃなくても必然的に問題がとけるような考え方ができるようになった。永島さんの考えが実践できて、論理的に問題がとけるとめっちゃううれしい。数学楽しいなって思えるようになりました。こんなに学ぶ喜びを感じられる授業は初めてでした。
- ヴェリタスでは数学を基本から機能的に整理して教えてくれるので、最終的には大抵の問題が基本的な手法の組み合わせであることが実感できるようになります。しかもカリキュラムを通して、少しでも努力を怠るとすぐにわからなくなることが実感できるので、中だるみなく着実に力を身につけられます。
- 問題をたくさん解かせるのではなく、考えさせるようにして、黒板にただ答が書かれてそれを受身的に飲み込むのではなく、どんなことを考えながら解いているのかがわかり、自分のものにしやすい。
- 点数はとれなくてもハイレベルな問題にあたることで逆に基礎が前より定着した気がします。
- 数学は才能なんかではなく、努力ということがよくわかった。テストゼミで、努力が結果に結びついた時の爽快感は一度味わってみて損は絶対ないと強く思った。
- 「数学」の授業が受けられる。ほかでは「この問題はこう解くもの」で解答書だけでおしまい。でもここでは、解答までの「道」がわかっていい。
- 本日の数学を習うことができた。「授業を聞いてわかる」ではなく「自分で試行錯誤して解く」ことを学びました。質問しやすい雰囲気があった良かった。
- 1つの問題からいくつも考えを引っ張るということを、意識するようになった。
- ちょうど一年前と比べてみて、どうしてあの頃はあんなにも数学が苦手で嫌だったのか不思議に思えるくらい、数学ができるようになって、また好きにもなれたと思います。そういう機会が得られたことに非常に感謝しています。
- 問題に対して、解く時にどのようなことを考えていかなければならないかというのを、その場で学べた。
- 論理的に考えるということ、初めて習った気がする。テストゼミでは解説を先生がその場で考えながらやるので、黒板にただ答が書かれてそれを受身的に飲み込むのではなく、どんなことを考えながら解いているのかがわかり、自分のものにしやすい。

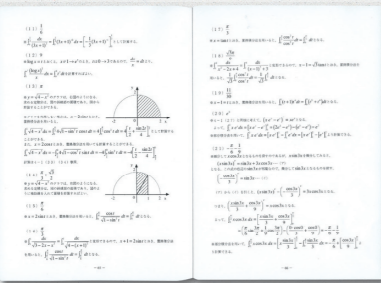


# 数学科テキストラインナップ

U1・U2→

**Stage 0** 本格的に学ぶ前にできていなければならないこと  
扱う問題のレベル ★

数学をスポーツに例えたとき、準備体操や筋トレに相当するのがこの段階です。まだ温まらない体や筋力の足りない体では本格的な実践に耐えられないように、数学においても求められる、最低限の計算能力を身につけて、ヴェリタスでの数学の学習が始まります。

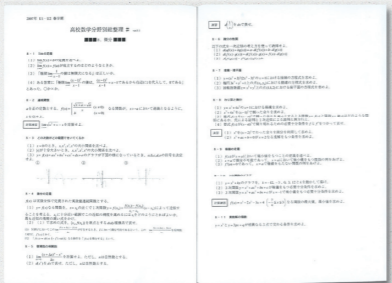


テキスト  
『基礎以前』

これから数学を学ぶにあたり、最低限押さえておかなければならない計算問題を中心に掲載。(自習用教材)

**Stage I** 概念・定義／定理・基本手法の把握  
扱う問題のレベル ★~★★

この段階では、数学的な「定義」を確認し、そこから導かれる「定理」のスピーディーな使い方を身につけます。同時に、暗記したパターンのあてはめに終わらぬよう、「定義」の存在理由、「定義」から「定理」への導出法、「定理」の数学的位置づけなどの理論的・背景的理解もめざし、自ら考え、試行することが問われる出題にも備えます。



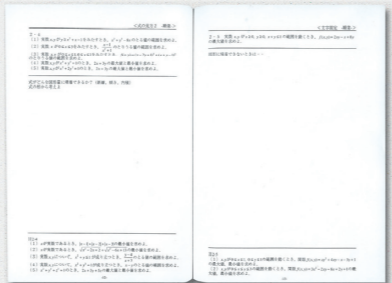
テキスト  
『高校数学分野別総整理』

高校数学の全分野に関して、基礎的な問題演習を通じて上記プロセスを網羅するよう編成。

U3・U4→

**Stage IIa** 論理の利用法と式への多角的視点を手に入れる  
扱う問題のレベル ★★★

標準的とされる入試問題に解答するために、そこから学びとれるポイントを1つに絞り込んだ設問を用いて、論理的思考を磨き、式を何通りにも正確に把握し、操作を加えてゆく多角的視点を獲得します。これによって、1つずつの数学的事実の理解がより深いものとなります。

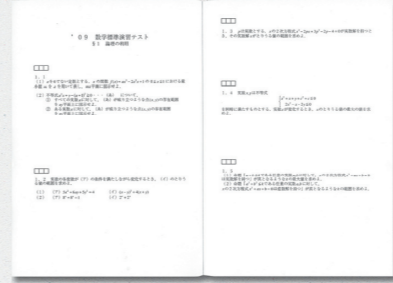


テキスト  
『大学入試基本演習』

実力を「測る」のではなく、「養成する」ためにポイントを絞り込んだ問題と、ポイントを自ら応用するための類題の演習を掲載。

**Stage IIb** 複雑な入試難問問題を、基礎的構成要素に還元できる力の養成  
扱う問題のレベル ★★★★★

複合的に絡み合った入試問題を、基礎的な個別の構成要素に解きほぐし、複雑にみえる数学の対象をStage IIaで構築した体系のなかで処理する力を養成します。

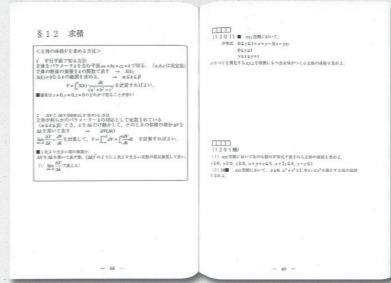


テキスト  
『大学入試標準演習』

近年の入試標準問題のうち、構成要素が幾重にも絡み合う複雑な問題を掲載。

**Stage III** 満点をめざすための、未知の問題と向き合う発想と実証  
扱う問題のレベル ★★★★★以上

試験で満点を獲得するために、未知問題に対して、既知の数学概念に基づいて、類似した部分に複数の命題を設定、その命題の論理的検証、の2点を複合的に行ない、自在の発想力と厳密な実証力をつけてゆきます。



テキスト  
『大学入試論点講義』

パターンの単調な適用から思考の働かせ方への移行を目指すよう編集。同時に、毎回75分のテスト演習を実施し、発想の仕方と情報処理の速度も高めます。

- 問題のレベルは
- ★.....易(入試では小問で出される程度のもの)
  - ★★.....やや易(大学入学共通テスト(旧センター試験)レベル+αミスで落としやすい問題)
  - ★★★.....標準(このレベルの問題を解けば、ほとんどの大学の合格点+αは固い。ただし、東大前期に限っては合格点-α程度)
  - ★★★★.....やや難(東大前期についての合格点+α、他大学では相当の差が付く)
  - ★★★★★.....難(様々な大学で出題されるが、合格点をとるには必要のない問題。ただし東大等では問題の半数がこのレベル)
- U1,2コースではStage Iから、U3,4コースではStage IIaからのスタートとなります。

## Stage IV 表現力とタイムマネジメント力を養うテストゼミ形式

大学入試実戦テストゼミ  
答案は細かく添削して返却、答案作成能力の養成・テスト慣れを目的とします。

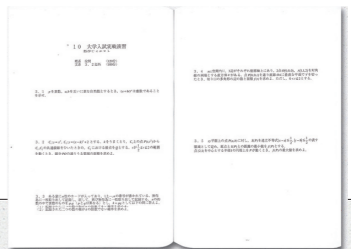
添削例

問題 [3.2] 11/20

問題 [3.1] 11/20

問題 [1.2] 11/20

テキスト  
『大学入試実戦演習』



講評の配布例 良例の答案や、参考となる別解を講評と共に配布しています。

問題 [6.2] 20

問題 [9.3] 20

問題 [9.3] 20

もともと  
あんなと

「目先にとられない授業」

北海道大学獣医学部1年  
鍛冶 ひな子 さん (桜蔭高等学校卒業)



「詰まった手の動かし方が変わった」



リレーインタビュー 2018年合格篇 [Vol.2]より  
千葉大学医学部医学科2年  
金沢 高弘 さん  
(開成学園高等学校卒業)

授業だからできる学び方

わたしもともと生物がすごい好きなので、塾に行かなくても自分で生物はできるだろうと思って、ヴェリタスでは理科は化学だけとってました。普段、学校の勉強をする時は、わたしは割とノートじゃなくて教科書中心にやる方なんですけど、化学の授業はとにかく藤井さんの板書が好きすぎて、授業ノート中心で勉強してました。教科書って読み物的に勉強ができる一方、バーって文章で大量に書いてあって疲れちゃうんですね。ヴェリタスの化学の板書は、教科書よりも簡潔で分かりやすく、けど単語だけが書いてあるだけじゃなくて、その塩梅が自分的にちょうどよかった。ただ、わたしが受けた大学がそんなに難しいものを出してくるところでもなかったので、割と基本的なことがわかっていれば解ける問題が多くて、だからこそ知識問題を落とさなくて、知識問題の復習は特にかんばってたつもりです。知識を頭に入れる時は、読み物的に勉強をするよりも問題を中心をやりました。無機化学の色とかは、でも実際に問題を解いて間違えた方が頭に入ったので。ヴェリタスって知識問題用の、例えば無機化学で基礎講義ってテキストがあるんですけど、学校のみんながやってるような分厚い問題集ではなくて、実際これで十分でした。あと、授業中は毎回小テストがあって、わたしはその小テストめっちゃかんばったとは言えないですけど、それなりにかんばっていたので、まあそれなりに褒めていただくって感じで。褒めるとか、かんばったね～みたいな。先生はあんまり当てるタイプじゃないし、わたしはよく質問に行くタイプって訳でもないですけど、そのくらいの距離感がちょうどよかったです。

目先にとられない授業

ヴェリタスの授業って、テストには出ないけど知っていた方がいいねみたいな、難しい知識とかも教えてもらえるんですけど、その時はよくわからずふんくりに思ってた、でも今になって大学の授業に出てきておっ! となったので、あ! これ知ってる! って思ったらヴェリでやってみたい。勉強してる時ってテストに出る出ないで仕分けしがちってというか、いや出ないしって受け取ってたこともあったんですけど、結果的に役立つ時もあるから聴いておいてよかったですね。

自分の中の世界の見方が変わると、本当に世界自体が変わって見える。毎日、何もかもが新鮮に見える。

理科

物理科

数式×イメージ=物理力!  
式とイメージを駆使して解くスピードを徹底的に高める

物理

化学科

「化学は覚えるもの」ではない!  
日常のいろいろなことの「なぜ」がわかるようになる

化学

生物科

ひたすら覚えるのではなく、考えて構築する  
人体については、内科学の入門

生物

英語

現代文・小論文

古文・漢文

1月~12月

全55回

# 物理科受験コース

[開講日] **1組** 2020年1月11日(土) 以降毎週土曜日 18:00~  
**2組** 2020年1月 8日(水) 以降毎週水曜日 17:00~

数式×イメージ  
 物理力!  
 式とイメージを駆使して  
 解くスピードを徹底的に高める

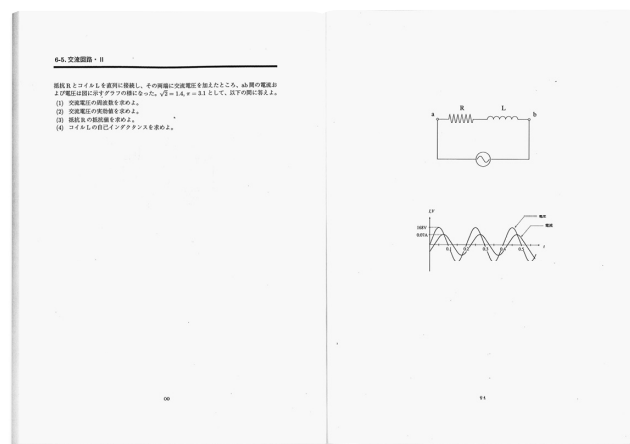
高校物理の全範囲を12ヶ月で講義・演習するコースです。全くの基礎から講義するので、予備知識は一切不要です。必要な数学も含めて一から講義します。

## 物理理論をつくる体験をする

完成された理論体系を天下一りに押しつけるのではなく、自らの手で物理理論を再構築してゆく体験ができるように講義を進めると同時に、適切な質・量の問題演習を行い、本コースの内容のみで十分な入試対策となるよう配慮しています。基礎力養成で使用されるテキストは、入試問題の単なる寄せ集めではなく、現象の本質的な理解を試すオリジナル問題によって編まれています。一方、入試対策期は、過去数年間の入試問題から演習価値の高いものを精選、テスト形式の演習によって実践的な力を養います。

## 数式とイメージの往復

物理とは、公式の暗記と当てはめには終始する学問では決してありません。何よりも大切なのは、自然界の基本原理を見極めること。高校生だからここまでいいや、という妥協を排して、可能な限り正確な形で物理法則を理解し、様々な現象を数式とイメージの両面から説明できるようになることを目指します。



- 使用テキスト
- ◎力学基礎演習
  - ◎熱学基礎演習
  - ◎電磁気学基礎演習
  - ◎波動基礎演習

## 春学期 1月~3月

### I 力学

物理現象を記述するのに必要な数学の準備からはじめ、全ての分野の基礎となる、「力学」全範囲を一から行います。3月末には、力学に関して知らないこと／わからないことは無いという状態に仕上げるのが目標です。同時に、物理の勉強の仕方というものを体得してもらいます。

### ■力学

- 第1講 数学的準備・運動学
- 第2講 放物運動
- 第3講 運動方程式 (質量とは?力とは?)
- 第4講 運動方程式の演習
- 第5講 単振動
- 第6講 単振動の演習
- 第7講 運動量保存則
- 第8講 運動量保存則の演習
- 第9講 エネルギー保存則
- 第10講 エネルギー保存則の演習
- 第11講 円運動
- 第12講 角運動量保存則
- 第13講 剛体のつりあい・重心系
- 第14講 非慣性系

## 〈1年間の大まかな流れと講義予定〉

## 夏学期 4月

### II 熱学

「力学」の良い演習材料として「熱学」を扱います。「熱学」は高校物理で扱う4分野の1つを占めますが、「力学」を学んだあとなら、1か月で十分完成できる分野です。工学的にはクーラーやエンジンの原理を扱い、「力学」で学んだ内容の現実世界への応用について学んでゆきます。

### ■熱学

- 第1講 ミクロの量とマクロの量
- 第2講 状態方程式と第1法則
- 第3講 演習
- 第4講 準静的過程と不可逆過程
- 第5講 熱サイクル

## 夏学期 5月~7月

### III 電磁気学

「力学」と双壁をなす、重要な分野である「電磁気学」を扱います。基本的には「力学」の勉強の仕方と全く同じなのですが、基礎方程式が「力学」では1つなのに対して、「電磁気学」では4つあるところが厄介なところです。この電磁気が終わると、物理に対して安心感がわき出します。

### ■電磁気学

- 第1講 数学的準備・場の考え方
- 第2講 電場中の電荷の運動
- 第3講 電位と静電エネルギー
- 第4講 静電誘導と誘電体極
- 第5講 直流通路
- 第6講 非オーム抵抗・ダイオード
- 第7講 磁場中の電荷の運動
- 第8講 電磁誘導
- 第9講 電磁誘導の演習
- 第10講 交流回路
- 第11講 電場と磁場の相互関係

## 夏学期 8月

### IV 波動・原子

波動は「力学的波動」「電磁的波動」の二つにわかれており、それぞれが「力学」「電磁気学」の良い演習となります。今まで「力学」「熱学」「電磁気学」と、1600年から1800年代までの古典を扱ってきたのですが、ようやく現代物理学の入口までくる分野です。「原子」では実際に現代物理学の一部を体感します。古典の限界を知ることで、今までの「力学」「熱学」「電磁気学」の総復習となります。

### ■波動・原子

- 第1講 波動関数・横波と縦波
- 第2講 合成正弦波
- 第3講 固有振動
- 第4講 ドップラー効果
- 第5講 波としての光
- 第6講 干渉・回折
- 第7講 粒としての光
- 第8講 電子の波動性
- 第9講 量子力学入門
- 第10講 もっと光を!

## 冬学期 9月~12月

### 総合演習

理科全般に言えることなのですが、入試問題は難問はほとんどなく、逆に普通の問題ではあるが時間が足りないというのが現状です。8月までに全分野が修了した今、どんな問題でも時間さえかければ、満点をとれるという状態に仕上げるのが、この時期の目標です。時間無制限で毎回6問予習してきてもらい、その答案を互いに交換し、互いに採点し合うというを行います。採点者の視点を獲得してもらい、かつどうやったら解くスピードを上げることができるのかということを考える為の授業を行います。

### テストゼミナール

本番の入試と同じ形式でテストを行い、その後、全問の解説、ならびに、答案の添削を行います。テスト慣れ、時間配分、答案作成法への精通など実践的に必要な様々なものを獲得する大事な時期です。この頃は精神的に辛い時期ですが、物理がその救いになるというのが毎年の卒業生の声です。

- 9・10月 総合演習  
時間無制限で満点をとるための訓練
- 11・12月 テストゼミナール  
時間制限の中、  
如何に点を多く取るかの訓練
- 2ヶ月間、連続全8回模試状態  
テスト後即解説+添削指導  
(テストゼミの効果は驚異的です)

なお、1月~8月は、1・2組とも同内容の講義を行い、9月初めにクラス分け試験を行って11月から上位クラスと下位クラスに分かれます。(クラスによって、曜日・時間が変更になる場合がございます。)



物理1組の授業風景

### Q 微積を使いますか?

A 使います。ただし、物理で使う数学は、すべて授業内で講義しますので、微積を知らないという心配はありません。物理において微積は、法則を適切に理解する為に使います。問題を解く際には、最終的には理科はどの科目も時間制限との戦いになるため、微積を使った方が速い場合のみに使い、微積を使わない方が速い場合は使いません。

## Voice 卒業生の声

- 小問を読まなくても、本文を読んだだけで立式できるようになるから、かなり速く解ける。(暁星)
- やるのが、かっちりしているところがいい。(白百合)
- 式を立てなくても、だんだん何が起るかわかるようになるところがすごい。(駒東)

1月~12月

全55回

# 化学科受験コース

[開講日] 1組 2020年1月 7日(火) 以降毎週火曜日 17:00~

2組 2020年1月11日(土) 以降毎週土曜日 13:45~

「化学は覚えるもの」  
ではない!  
日常のいろいろなことの「なぜ」が  
わかるようになる

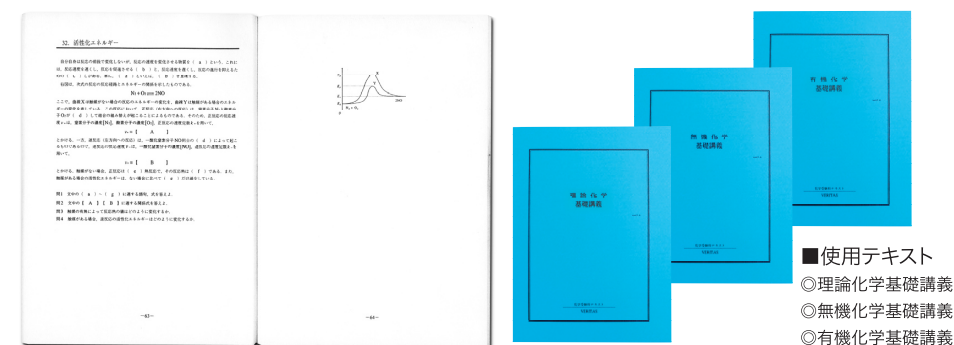
高校化学の全範囲を12ヶ月で講義・演習するコースです。予備知識は一切不要です。1~9月で全範囲の基礎講義・標準演習を終え、10~12月でテストゼミ形式での演習を通じて受験対策を行います。

## 未知の反応を予測できる力

化学は本来、誰もが面白いと思えるはずの分野であるにもかかわらず、呪文のような反応式をひたすら覚えるだけの暗記科目と見なされることが多いのですが、すべての反応を覚えなくてはならないわけではありません。物質の反応は、気まぐれに起こるものではなく、確固たる反応機構に基づいています。その反応の理論体系を理解することができれば、反応式をその場で組み立てることも可能ですし、未知の反応についてもある程度予測はできます。本講義では、「なぜこの反応が起こるのか」という部分の理解を一番大切に考えます。

## 生物との深い関連

化学をめぐる諸問題は日常の様々なところに表れています。例えば、シャンプーと別の会社のリンスを組み合わせると、同じ会社のシャンプー・リンスを使うのと比べて、どのようなことが起きるかわかりますか? 反応理論を学ぶことによって、日常をめぐる様々な問題に対する予測性や視野が広がります。新課程(2015年入試以降)になって重要視される事項、例えば、生物との関連である、頭痛薬や湿布薬などの医薬品に含まれる化学物質の働き方やその製法、生体内で起こっている代謝やタンパク質合成、ナイロン・ポリエステルなどの合成繊維や、ペットボトル・プラスチックといった化学製品など日常と関連性の高いものを豊富に扱います。



■使用テキスト  
◎理論化学基礎講義  
◎無機化学基礎講義  
◎有機化学基礎講義

〈1年間の大まかな流れと講義予定〉

### 1年間の大まかな流れと講義予定

#### 春学期 1月~3月

##### I 理論化学

理論化学では、理論化学の問題が解ける様になるということももちろんですが、それ以上にその後行う無機化学/有機化学の際、覚えることを極力少なくする為の骨格をつくるということが重要となる分野です。原子や分子といったミクロなレベルから、マクロな現実に行き届いていることを説明するということに慣れ、自分の言葉で化学現象を説明できるようになることを第一とします。具体的には、質量保存・電気量保存をkeyとして、物質変化を組み合わせ構成的に扱います。

##### ■理論

- 第1講 原子
- 第2講 結合とは何か
- 第3講 結晶
- 第4講 気体の性質
- 第5講 固体の溶解度・気体の溶解度
- 第6講 希薄溶液の性質
- 第7講 熱化学方程式
- 第8講 反応速度
- 第9講 化学平衡
- 第10講 酸・塩基の定義
- 第11講 弱酸・弱塩基の電離平衡
- 第12講 酸化・還元
- 第13講 電池・電気分解

#### 夏学期 4月・5月

##### II 無機化学

この期間では、まず化学反応を系統分けするところから始めます。暗記分野と考えられがちが無機化学ですが、反応の仕方を整理することで驚くほど覚えるべきことは減少します。一つ一つの基礎となる反応がなぜ起こるかを考えていくことで、未知の反応についても予測できるよう力が備わってきます。

##### ■無機

- 第1講 アルカリ金属
- 第2講 アルカリ土類金属
- 第3講 ハロゲン
- 第4講 16族元素
- 第5講 15族元素、14族元素
- 第6講 両性金属
- 第7講 遷移金属、錯イオン
- 第8講 無機定性分析

#### 夏学期 6月・7月

##### III 有機化学

有機化合物はその官能基の種類によって反応の仕方が決まってきます。理論化学で行った混成軌道の電子雲の形から、官能基ごとの反応性の予測が可能です。無機化学が工業的なものに比べ、有機化学は人体、食品など、より生活に身近であり、今まで知っていた現象を、今までと違った視点で把握する楽しみのある分野です。化学の中では、無機化学と双璧をなす、二大得点源の分野です。

##### ■有機

- 第1講 有機化学の基礎
- 第2講 炭化水素
- 第3講 脂肪族化合物①
- 第4講 脂肪族化合物②
- 第5講 芳香族化合物
- 第6講 有機化合物の分離と精製
- 第7講 天然高分子化合物
- 第8講 合成高分子化合物

#### 8月・9月

##### IV 無機・有機総整理

4月から7月の間に講義を行った無機・有機についての総整理を行います。各論の講義でばらばらに身につけていた要素が相互に結びついてくることが実感できるはず。理科は、物理、生物共、解くのに時間がかかり、時間との戦いになるという側面がありますが、無機・有機は、わかってさえいれば即答でき、格段に時間の節約が可能な分野です。

##### V 理論総整理

無機・有機で扱った様々な反応と、春学期の理論分野を組み合わせて、どのような反応が起こるかだけでなく、どれだけの量の反応が起こるかに重点をおいて演習を行います。実際に数値を扱うことは、化学の重要な側面です。入試標準レベルの問題を用い、基本手法の総整理も行います。

##### 8月 [夏期集中授業]

無機総合演習  
有機総合演習

9月  
理論総合演習

#### 冬学期 10月~12月

##### テストゼミナール

受験化学の総仕上げとして入試本番と同じ形式でテストを行い、その後問題の解説および答案の添削を行います。入試本番を意識した緊張感の中で、時間配分・答案作成方法を身につけることを目的としています。

##### 10月~12月

テストゼミナール形式となります。

3ヶ月間、連続全12回模試状態  
テスト後即解説+添削指導  
(テストゼミの効果は驚異的です)

なお、1月~9月は、1・2組とも同内容の講義を行い、9月初めにクラス分け試験を行って10月から上位クラスと下位クラスに分かれます。(クラスによって、曜日・時間が変更になる場合がございます。)



化学1組の授業風景

Q 学校で全く化学を勉強していないのですが、ついていきますか?

A 化学を学ぶ上で必要なことは、数学の部分、物理と重なる部分、生物と重なる部分を含めて、全て一から講義をしています。予備知識は一切不要ですので、問題ありません。理科受講にあたっては、物理、化学、生物とも、学校で履修している必要はありません。理系として、大学では結局、物理、化学、生物、全ての知識を必要とするため、受験で使う2科目は塾で、使わない科目を学校で履修するという手もあり、毎年、受講生の半数程度がそのような選択をしています。

1月~12月

全50回

# 生物科受験コース

[開講日] 2020年1月11日(土) 以降毎週土曜日 18:00~

〈1年間の大まかな流れと講義予定〉

冬学期 9月~12月

## テストゼミナール

本番の入試と同じ形式でテストを行い、その後、全問の解説、ならびに、答案の添削を行います。テスト慣れ、時間配分、答案作成法への精通、など実践的に必要な様々なものを獲得する大事な時期です。テストゼミと並行して知識の重ね塗りを行っていきます。

夏学期 6月~8月

## III 各論

### ~動物界/植物界/菌界~

動物界ではヒトとの比較という視点で、植物界/菌界では、進化という視点で、様々な歴史的蓄積を整理していきます。通常の高校資料集に含まれるものに限らず、専門書などから様々な写真、図、表を引用し、視覚的な授業を行います。

## IV 総復習+α

今までの知識の総復習をすると共に、知識の穴がないかの穴埋めを行います。また、歴史的に重要な実験や現在研究機関等で行われているバイオテクノロジー/モレキュラー・バイオロジーの現状を紹介しします。

夏学期 4月・5月

## II 各論

### ~ヒト~

もっとも身近なヒトの体を扱います。6、7月ではこのヒトとの比較という視点で、様々な動物を扱うため、ヒトについて精通することが、重要になります。ヒトは当然医学との関連が深く、下表の題目を見てもらえばわかりますが、<sup>+</sup>病院の診療科で見ることのできる名前がずらっと並びます。そういう意味では内科学の入門とも言え、ヒトの体について相当な知識を得ることができます。

春学期 1月~3月

## I 総論

### ~物質と増殖~

生物を大局的な2つの視点から見て、それぞれ2時間ずつ並行して授業を行います。1つは、生物も物質だという視点。どのような物質でできているのか、どのような化学反応が起きているのかに焦点をあてます。もう1つは、生物は増殖するという視点。増殖という他のものにはない性質はいついどのよう仕組みによるものなのかに焦点をあてます。枝葉末節な部分はとりあえず置いておき、このあと葉をつけるための「幹」を頭の中につくることがこの時期の目標です。「幹」を最初に作っておくと、暗記が飛躍的に楽になります。

ひたすら  
覚えるのではなく、  
考えて構築する!

人体については、内科学の入門

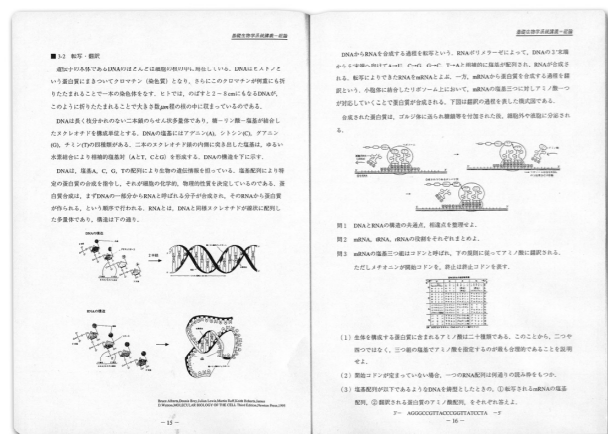
## 根本となる知識と類推によって導ける知識の区別

生物は暗記科目のように思われていますが、入試のほぼ5割は殆ど知識がなくても解けてしまうのが現状です。というのも、生物は実験問題が多く、この実験は「何を目的として」「どんな欠点があって」理論的にはどのレベルまでのことを言うことができるのかを問うているからです。そういう意味では、推理小説や現代文に近い科目とも言えます。覚えようにもきりがなく、広く多様な生物の世界において、重要なことは根本となる知識と類推によって導ける知識に分け、頭を使って覚えてゆくことです。授業では、上記の「根本となる知識」と「類推によって導ける知識」をはっきりと区別してゆきます。また、専門書から引用する多量の図表、プロジェクター等を用い、どんな位置に何があるのかを視覚的に訴え、記憶の補助を促してゆきます。覚えるのではなくて考えて理解することによって培われた実力は、大学進学後も必ずや大きな武器となるでしょう。

高校生物の全範囲を12ヶ月で講義・演習するコースです。(予備知識は一切不要)。医学や生物学研究の第一線で活躍する講師が、ダーウィンの進化論から分子生物学に至るまで、生物に対する人類の知見の変貌をたどりつつ、最新の生物学へと招待します。

## 医学の予習

遺伝子組み換え食品や遺伝子治療など、いまや我々の生活に確実に浸透している遺伝子工学に対し、無知ゆえの盲目的な恐れに煽られず、冷静かつ的確な判断を下すためには、生物学を正しく理解することが必要不可欠です。そのためにも、この講義では、単なる受験対策にとどまらずより広く深く生物学を学び、特に医学・生物学系を志す諸君にとっては「大学の予習」となることを目指します。また、授業中の質問は自由で、意見や質問が飛び交うのびやかな雰囲気の中で授業が進みます。



■使用テキスト  
◎基礎生物学系統講義

1月・2月

総論 一列

### ■物質に注目して

- 第1講 蛋白質
- 第2講 呼吸
- 第3講 糖質・脂質
- 第5講 光合成
- 第6講 炭素循環
- 第7講 窒素循環
- ホッと一息
- 第4講 進化論入門
- 第8講 生命の定義

総論 二列

### ■増殖の視点で

- 第1講 分裂
- 第2講 生殖
- 第3講 転写
- 第4講 複製
- 第5講 形質
- 第6講 発生
- 第7講 分化
- 第8講 再生

3月 融合問題演習

4月~7月

各論 一列

### ■ヒトの体

- 第1講 運動神経
- 第2講 骨格筋
- 第3講 自律神経
- 第4講 副腎・甲状腺
- 第5講 免疫系
- 第6講 感染症
- 第7講 性周期
- 第8講 血糖調節

### ■植物界

- 第9講 藻類

- 第10講 コケ植物・シダ植物
- 第11講 種子植物

### ■菌界

- 第12講 菌類

### ■その他

- 第13講 個体群 I 一集団遺伝学入門一
- 第14講 個体群 II 一個体数動態学入門一
- 第15講 個体群 III 一植物群落一
- 第16講 生命史

8月 記述添削演習

各論 二列

### ■ヒトの体

- 第1講 循環器
- 第2講 呼吸器
- 第3講 血液
- 第4講 感覚器 I 一味覚・嗅覚・聴覚一
- 第5講 感覚器 II 一視覚一
- 第6講 脳
- 第7講 泌尿器
- 第8講 消化器

### ■動物界

- 第9講 比較生物学 I 一循環・呼吸・排出・消化一
- 第10講 比較生物学 II 一神経一
- 第11講 比較生物学 III 一発生一

### ■その他

- 第12講 比較生物学 IV 一内分泌一
- 第13講 ミクロからマクロへ
- 第14講 歴史の実験
- 第15講 バイオテクノロジー
- 第16講 環境問題

※一列2時間になります。

9月~12月

テストゼミナール形式となります。

4ヶ月間、連続全16回模試状態  
テスト後即解説+添削指導  
(テストゼミの効果は驚異的です)

## Voice 卒業生の声

●医学部に行ってみて、いかにこの生物でやったことが、根幹をつくってくれていたかを実感した。周りの同級生に比べて、膨大な医学事項が、楽に覚えられていると思う。頭のどこの引き出しにしまったらよいか分かる。(東京医科大学)

もつと  
あつと

リレーインタビュー 2019年合格篇 [Vol.3]

### 「何となく解けたで終わらせない」

東京慈恵会医科大学医学部医学科1年  
岸本 昌之さん(城北学園高等学校卒業)



「意外と4時間って  
あつという間です。」



リレーインタビュー 2018年合格篇 [Vol.3]より  
東京慈恵会医科大学医学部医学科2年  
原田 瑠衣さん  
(雙葉高等学校卒業)

### 土台を固めたことの効果

ヴェリタスの授業の特に良かったところを考えると、やっぱり全部基礎なんです。論理記号とか、同値変形とか。例えば、論理記号とかを習ったときは、参考書にも載っていないし絶対こんな使わない、こんなわかってなくていいやって思ったんですけど、いざ一通り数学結構やって、解いているときに論理記号を使ってみたら使いやすいな。授業は真面目に聴いておいたほうがいいなと思います(笑)。頭の中が整理されやすいついていうか、何やっているかがすごい明確になって、日本語だけだと、途中で何やっているかわかんなくなって、何か条件が足りていないんじゃないかと考えて、止まってしまうので。そういった土台がしっかりしていたから、得意になったんだと。

### 何となく解けたで終わらせない

同じクラスに伸び方が異常なほどすごいやつがいたんですね。どうやったらそんな伸びることができんだらうって色々考えてみると、俺は結構解けたらOKで済ませてたんですけど、彼は誰よりも深く考えようとするというか、何となく解けても、もう一度しっかり考えていた気がします。それって結局ヴェリタスでやっていることで、ヴェリタスの先生が言っていたことなんですよ。すごいなっていう。自分は結構いろいろ問題を解き散らかしたいタイプだったんですけど、それだとある程度できてそれ以上伸びないよ、みたいなことをヴェリタスの先生に言われていて。実際にできないわけじゃないけど、確かに伸び悩んだんですよ。自分でも勉強法変えて、授業で重要視されていたところを深めていたら、結構上がっていました。

リレーインタビュー 2019年合格篇 [Vol.4]

### 繋がりを学ぶ、繋がりで覚える

英語を語源的に捉えたことがなくてへえって。例えば前置詞のイメージとか、今までは一対一に覚えるみたいな感覚だったのが、この前置詞にはこういう意味があるからこの動詞に対してこう使うんだよって、その覚えるとつながりみたいなのを示してもらえたので、だいぶ覚えやすくなりましたね。イディオムとかがすごく覚えやすくなったかなと思います。自分の場合はもうすでにそういったことは比較的頭に入っていたんですけど、改めてやって覚えるべきことに繋がりがあったので、忘れにくくなった感じがですね。それに何かと関連付けて勉強することで、初めてのものに対しても覚えやすくなったのかなと思います。一個ごとの暗記するものじゃなくて、それぞれの知識が、ちょっとずつではありますけど、線で結ばれて、だからこうなんだなっていう思考をしようとする意識が、少しずつはついてきたかなと。大学のテスト勉強でも、覚えるだけなのか、原理に戻ってそこから理解していくかっていう違いで、覚えやすさ忘れにくさがかなり変わってくるので、ここにも使えますね(笑)。

### ベースから始めて、深掘りする姿勢をもつ

ヴェリタスで一番得られたものは、深掘りする姿勢だと思います。僕の学校では参考書を中心にやるっていう方針で、問題解いただけみたいなイメージだったので、ヴェリタスに入って、こんながつり理論的に詰めるんだって、新しいとは思いましたね。量をやってパターンを覚えて当てはめるみたいな解き方しかしてこなかったんで、ベースのところから積み上げていくってことは、基本的なことだけど新鮮でした。数学でもそうなんですけど、こういう見方もある、このきかれ方だったらどうなるとか、どんどん深く掘り下げることもできますし、逆にこの解法だとどれに適用できるのかなとか一年間通すなかで、そういう考える姿勢とか、意識とか芽生えた気がしますね。全体的に、鷲呑みにせずに「なんで？」って言えるようになってきました。そうすると、授業をただ受け止めてる感覚ではなく受けることができるので、有意義だったのかなって思いますね。



東京大学理科2類1年  
成田 航さん(開成学園高等学校卒業)

### 「繋がりを学ぶ、繋がりで覚える」

英語科

英語のまま理解し、英語のまま考えられる、  
これを獲得する一年。

### 英語科 上級(Aコース)

科目としての英語を超えて、英語「で」学ぶ基盤の構築  
一年で専門書を読み解き、論文を書き記す、一生ものの英語力を身につける

### 英語科 中級(B・Cコース)

一をもって十を知り、必要最小限で最大限の結果を生み出す方法  
英語を英語のまま理解する

数学

数III

物理

化学

生物

英語

現代文・小論文

古文・漢文

# 英語科受験コース (Aコース)

[開講日] 2020年1月9日(木) 以降毎週木曜日 17:00~

科目としての英語を超えて、  
英語「で」学ぶ基盤の構築

一年で専門書を読み解き、論文を書き記す  
一生ものの英語力を身につける。

現時点で基礎的な英文法の理解があり、英語力にある程度の自信のある人を対象とします。磐石の文法力と豊富な語法・語彙力を養成し、あらゆる英文の構造を読みぬく分析力を培うとともに、自らが読み取った情報を正確に記述し、他者に伝達する能力も高めていきます。最終的には、個々の単語の意味生成過程や、文法・語法といった諸規則を生み出した歴史的背景にまで理解の範疇を広げ、英文を構成している論理性や、背景にある文化性・社会性まで読み解くことのできる水準をめざします。この段階になれば、東京大学をはじめとする国公立大学の入学試験においてほぼ満点をおさめるのはもちろんのこと、<sup>※</sup>大学入学後に必要となる英語による専門書講読や英語論文執筆の基本的な手法も獲得しているといえるでしょう。

▼使用テキスト

- ◎長文演習精読中級
- ◎厳選英文法・英作文通覧
- ◎短文和訳精解
- ◎認識から自動処理へ 発展編
- ◎Methodology for Listening Stage I

## 春学期 1月~3月

### I どんな難しい構造でも、見抜ける力を獲得する

文法英作文パート+構文パート 一文の構造—基本事項に1つでもれがないかを総確認し、スタンダードな文法書を再び参照する必要がなくなるレベルにまで文法事項を徹底的に身体化します。

短文読解パート 一文の構造 I—すべて原書から抜粋された高度な英文と格闘することで、例外的破格の文構造であったとしても、構造を見抜くことのできるための訓練を行います。

長文読解パート 一文の構造 II—文章構造を数種の展開パターンに帰着させ、内容が変わったとしても、使うことのできる手法を確立させます。

#### ▼春学期の授業スケジュール

一列	二列		三列	四列
	和訳	文法・作文	構文	要旨論理把握
第1講	文型と動詞	品詞・構成単位	be動詞に意味を追加する動詞	抽象と具体 I
第2講	前置詞	動詞型	文の埋め込み I	抽象と具体 II
第3講	接続詞	情報構造	予告と展開	存在と非在 I
第4講	関係詞	動詞の品詞機能転換 I	文の埋め込み II	存在と非在 II
第5講	不定詞	動詞の品詞機能転換 II	文の名詞化	二項対立 I
第6講	分詞・動名詞	時間と法概念 I	文の結合 I	二項対立 II
第7講	時制・語法	時間と法概念 II	文の結合 II	同型反復 I
第8講	助動詞	句と節の多機能構造-名詞-	予告のas	同型反復 II
第9講	態	句と節の多機能構造-形容詞-	関係詞のasとthan	時間と秩序 I
第10講	法	句と節の多機能構造-副詞-	省略されたもの見抜き方	時間と秩序 II
第11講	比較	構造と概念の近接 I	not moreとlessとno moreの差	弁証法
第12講	名詞・代名詞・数詞	構造と概念の近接 II	並列構造	推論規制
第13講	否定・倒置	破格	would, could, mightの意味	範疇化

全列で長文を扱いますが、それぞれの列でフォーカスの置かれるポイントが異なります。  
 ■3月中旬のクラス分け試験によってA、B、Cのクラス替えが行われます。

〈1年間の大まかな流れと講義予定〉

## 夏学期 4月~7月

### II 日本語と英語の対立を超えた言語能力を身につける

文法英作文パート  
英語表現に適した日本語表現に、日本語の中で変換する訓練を行います。併せて、非常に便利な英語表現の網羅増強を行います。

構文和訳パート  
英語を英語のまま、語のもつニュアンスも含め、英語の語順のまま理解する訓練と並走し、そのわかったことを、精密に日本語で表現することを行います。

長文読解パート  
先学期に身につけた、メタレベルから構成する視座を利用し、要旨を的確に表現する技術を洗練させます。

#### ▼夏学期の授業スケジュール

一列	二列		三列	四列
	単語・語法	文法・作文	構文・和訳	要旨論理把握
第1講	動詞の分類	助動詞	挿入構文	グローバル化と英語
第2講	存在文・能動受動	仮定法	助動詞	子どもと知性
第3講	繋辞	接続詞	倒置構文	終身雇用制の是非
第4講	目的語の形態論	不定詞	文の名詞化	夢の効用
第5講	SVOA①	分詞・動名詞	文の形容詞化	農耕の起源
第6講	SVOA②	関係詞 I	関係詞	普通文法の構想
第7講	授与動詞	関係詞 II	相関構文	アルコール依存への評価
第8講	不定詞つき対格①	比較	分詞	消えゆく言語
第9講	不定詞つき対格②	時制	仮定法	古代ギリシャの恩恵
第10講	動詞語法 Review	否定	接続詞	英国内の道路の誕生
第11講	接辞と限定・叙述用法	名詞構文	比較構文	動物と感情
第12講	補文構造・配列規則	諺	等位接続	顔面の非対称性
第13講	冠詞類の配列	譲歩	動名詞	疾病と人類史
第14講	副詞の形態と位置	類比	目的構文	社会的知見とは
第15講	名詞と数概念	因由	比較	コロンブスの功罪
第16講	目的性名詞・強意・相互複数名詞	確認	不定詞	子どもと芸術

全列で長文を扱いますが、それぞれの列でフォーカスの置かれるポイントが異なります。

## 夏期集中 8月

### III 多様な選択講座で実力を飛躍させ、弱点を徹底克服

10を超える講座のうちから、2講座を選択します。基礎徹底レベルから応用研究レベルまで揃えられた選択肢のなかから、自らの現状と関心に合わせて選択し、より得意な部分を伸ばしたり、また、苦手な領域を根本的な基礎部分から洗い直すこともできます。この1カ月を費やし、きたる9月からのテストゼミナールに向けた万全の体制づくりをめざします。

- 8月 [夏期集中授業] (以下から2講座選択)
- 「和文英訳演習 上級」
  - 「哲学書を読む —R.W.エマソン『代表的人間像』」
  - 「解釈演習初級 —論理に着目する英文読解—」
  - 「語彙力集中強化 —5日で1000語をマスターする—」
  - 「リスニング 入門」
  - 「リスニング 発展」
  - 「映像と音で学ぶ人間学入門」
  - 「解釈演習中級 —小説対策—」
  - 「解釈演習中級 —評論対策—」
  - 「構文鑑別演習」
  - 「基礎以前完全網羅」

の枠1つ1つが相互にリンクしています。

全4時間の講義は、テストゼミナール[演習・解説] (2時間)、文法作文 (1時間)、和訳 (30分)、リスニング (30分) によって構成されます。テストゼミでは、左記の多様な分野を渉猟しよう工夫されており、提出答案是採点・添削のうえ、翌週返却されます。

- 使用テキスト
- 「テストゼミナール」「Criticismの業」「難系長文速読講習」「Methodology for Listening Stage II」
- 7月下旬のクラス分け試験によってA、B、Cのクラス替えが行われます。

## 冬学期 9月~12月

### テストゼミナール

記述性の高い難問を多く含む過去の入試問題を中心に、要約、和訳、英訳、自由英作、正誤判定、空欄補充、語法、速読、リスニングといったあらゆる形式の問題を、テスト形式で演習し、その場で解説。4時間の授業は、テスト演習+テスト解説+語彙・リスニング講義という形式を採り入れ、テストによって分野にとらわれず複合的対象を腑分けしていく実践力を強化しています。語彙、リスニングの2分野からなる講義では、新傾向の特殊な設問へのアプローチの検証を行い、また、あらためて系統立てて見直すべき論点をまとめなおし、実践にのぞむたくましさ、対象を英語の体系理解の枠組にあてはめてゆく冷静な情報整理能力の両輪を鍛えていきます。

9月以降は、全16回のテストゼミナール形式となります。



**Q** リスニング対策はどうなっていますか？

**A** 毎回の授業では、リスニング講座が30分間もうけられています。また講習は、複数講座から二講座を選択するという形式なのですが、リスニング専門の講座も毎季節開講されています。講習は、出題形式別の講座となるため、文法、作文、評論読解、小説読解、要約、リスニング、発音アクセントなど、個々の弱点に応じた選択をすることができます。

1月~12月

全60回

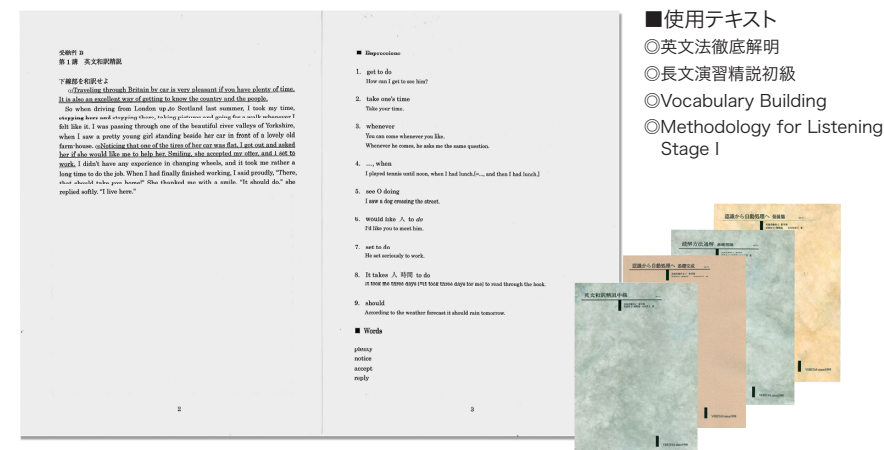
# 英語科受験コース (B・Cコース)

[開講日] 2020年1月9日(木) 以降毎週木曜日 17:00~

現時点では英文法・語彙力に不安を抱えており、英語が苦手だと感じているが、最終的には難関大学を目指している人を対象とします。今までの曖昧な英語理解や知識偏重の暗記主義にいいさ頼ることなく、単語の成り立ちや効果的な辞書の使用方法にはじまって、基礎的な英文法の解説から英語の文章全体の構成にいたるまで、すべてを根本的な基礎部分から丁寧にたどりなおしていきます。授業ではそれぞれの分野を定着させるための必要最低限の量しか扱いませんが、いずれ劣らぬ良問が英語の本質を鋭く問い直します。これらを着実に習得していくことによって、大学受験の水準の英文であっても難なく読みこなし、与えられた設問に自信をもって答えることのできる英語運用力を身につけることが可能です。

英語を英語のまま理解する

一をもつて十を知り、  
必要最小限で最大限の  
結果を生み出す方法



■使用テキスト  
◎英文法徹底説明  
◎長文演習精説初級  
◎Vocabulary Building  
◎Methodology for Listening Stage I

## 春学期 1月~3月

### I 英語理解の必要最小限の枠組を獲得する

基礎を徹底的に網羅する時期です。最低知っていなければならない単語(その多くは動詞です)、その単語が司る文法事項(動詞が文の構造の基礎である文型を決定してきます)、そしてその文法事項を、文法問題に答える為でなく、長文読解の際にどう利用したらよいか?という流れで、1回の授業が、三段階(3時間分)にわかれます。また、その一方、無意識レベルからの英語の理解ということも重視するため、非常に長い非常に易しい英文を読む、多読演習を行い、英語への苦手意識を解消し、英文の身体化を狙います(1時間)。

### ▼春学期の授業スケジュール

	一列	二列	三列	四列
	単語・語法	文法・作文	構文・和訳	要旨論理把握
第1講	語源学総説	基本前置詞	基本前置詞	教育
第2講	接頭辞	基本動詞	基本動詞	ボランティア
第3講	単語の分解 I	基本五文法	基本五文法	時事問題
第4講	単語の分解 II	接続詞	接続詞	随想
第5講	単語の構成 I	関係詞 I	関係詞 I	言語
第6講	単語の構成 II	関係詞 II	関係詞 II	心理
第7講	単語の構成 III	不定詞	不定詞	科学
第8講	単語の構成 IV	分詞・動名詞	分詞・動名詞	政治
第9講	多義語の征服 I	比較	比較	医療
第10講	多義語の征服 II	時制・態	時制・態	環境
第11講	多義語の征服 III	法	法	倫理
第12講	語感	否定	否定	思想
第13講	類似語の判別	倒置	倒置	メディア

全列で長文を扱いますが、それぞれの列でフォーカスの置かれるポイントが異なります。二列と三列は同一テキスト「英文法徹底説明」を使用します。

■3月中旬のクラス分け試験によってA、B、Cのクラス替えが行われます。

〈1年間の大まかな流れと講義予定〉

## 夏学期 4月~7月

### II 先学期に養成した、最小限の枠組に枝葉をしがらせる。そして英語を英語のまま理解できるように

言語である限り、スタンダードの文法から外れた例外事項というもの必ずあります。それは、ちょっと異なることをしてみたい、という人間の欲求から生まれてきたものです。その例外事項を押さえておかないと、母国語でないがゆえに、構造把握や意味内容に大きなズレや混乱が生じてしまいます。この学期には基本の枠組に加え、例外事項の網羅定着を行います。

### ▼夏学期の授業スケジュール

	一列	二列	三列	四列
	単語・語法	文法・作文	構文・和訳	要旨論理把握
第1講	動詞の分類	動詞型	知覚使役動詞	抽象と具体 I
第2講	存在文・能動受動	文の埋め込み・名詞	時間構文	抽象と具体 II
第3講	繋辞	照応の様態	倒置構文	存在と非在 I
第4講	目的語の形態論	文の埋め込み・副詞	仮定法	存在と非在 II
第5講	SVOA①	文の埋め込み・形容詞	文の名詞化	現象と要因 I
第6講	SVOA②	形容詞節	分詞構文	現象と要因 II
第7講	授与動詞	時間概念と形式	比較構文 I	同型反復 I
第8講	不定詞つき対格①	類比の様相	比較構文 II	同型反復 II
第9講	不定詞つき対格②	品詞・構文単位・動詞型	態	同型反復 III
第10講	動詞語法 Review	動詞型と情報構造	共通構文	同型反復 IV
第11講	接辞と限定・叙述用法	動詞の品詞機能転換	否定構文	展開と時間 I
第12講	補文構造・配列規則	時間と法概念	関係詞	展開と時間 II
第13講	冠詞類の配列	句と節の多機能構造-名詞・副詞-	省略構文	遊及と時間 I
第14講	副詞の形態と位置	句と節の多機能構造-形容詞-	予定展開構造	遊及と時間 II
第15講	名詞と数概念	構造と概念の近接 I	目的構文	範疇化 I
第16講	目的性名詞・強意・相互複数名詞	構造と概念の近接 II	ディスコースマーカー	範疇化 II

全列で長文を扱いますが、それぞれの列でフォーカスの置かれるポイントが異なります。

## 夏期集中 8月

### III 多様な選択講座で実力を飛躍させ、弱点を徹底克服

10を超える講座のうちから、2講座を選択します。基礎徹底レベルから応用研究レベルまで揃えられた選択肢のなかから、自らの現状と関心に合わせて選択し、より得意な部分を伸ばしたり、また、苦手な領域を根本的な基礎部分から洗い直すこともできます。この1か月を費やし、きたる9月からのテストゼミナールに向けた万全の体制づくりをめざします。

### 8月 [夏期集中授業] (以下から2講座選択)

- 「和文英訳演習 上級」
- 「哲学書を読む -R.W.エマソン『代表的人間像』」
- 「解釈演習初級 -論理に着目する英文読解-」
- 「語彙力集中強化 -5日で1000語をマスターする-」
- 「リスニング 入門」
- 「リスニング 発展」
- 「映像と音で学ぶ人間学入門」
- 「解釈演習中級 -小説対策-」
- 「解釈演習中級 -評論対策-」
- 「構文鑑別演習」
- 「基礎以前完全網羅」

の枠1つ1つが相互にリンクしています。

全4時間の講義は、文法作文(1時間)、長文読解要旨把握(1時間)、構文和訳(1時間)、単語・語法(30分)、リスニング(30分)で構成されます。

■使用テキスト  
「長文演習精説中級」  
「厳選英文法・英作文通覧」  
「短文和訳精説」  
「認識から自動処理へ 発展編」

■7月下旬のクラス分け試験によってA、B、Cのクラス替えが行われます。

## 冬学期 9月~12月

### テストゼミナール

記述性の高い設問を含む過去の入試問題を中心に、要約、和訳、英訳、自由英作、正誤判定、空欄補充、語法、速読、リスニングといったあらゆる形式の問題を、テスト形式で演習し、その場で解説。志望校に応じた実践的な問題とともに、これまでの復習となる基礎問題も用意し、バランスよく学習を進めていきます。4時間の授業は、テスト演習+テスト解説+語彙・リスニング講義という形式を採用し、テストによって分野にとらわれず複合的な対象を腑分けしていく実戦力を強化しています。語彙、リスニングの2分野からなる講義では、新傾向の特殊な設問へのアプローチの検証を行い、また、あらかじめ系統立てて見直すべき論点をまとめなおし、実践にのぞむたくまさと、対象を英語の体系理解の枠組にあてはめてゆく冷静な情報整理能力の両輪を鍛えていきます。

9月以降は、全16回のテストゼミナール形式となります。

Q 英語がかなり苦手です。単語力がなさすぎて。英語をできるようにするには、ひたすら単語を覚えるしかないのでしょうか。

A まず、丸暗記でない、単語の覚え方が存在します。受験科の初回の語彙パートでは、その方法の説明から入ります。またもっと重要なことなのですが、「英語ができない」と言っている人の大半は、実は単語力の問題でなく文法力の問題なのです。ですから、その根源となる文法力を何とかしないことには、単語を覚えても覚えても読めるようにはなりません。文法力と言っても、文法問題を解く為の文法力ではなく、「読む為に文法を如何に利用できるか」という意味の文法力です。受験科BCでは、1~3月の三ヶ月間で、読む為の文法力を完成させます。



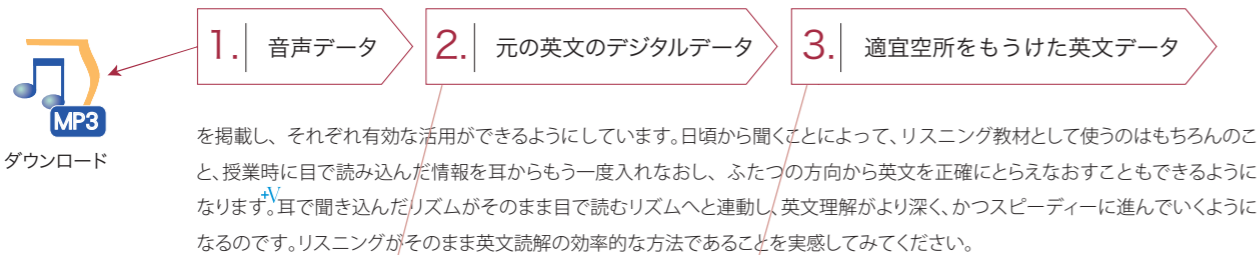
# 英語科 授業のバックアップシステム

英語をはじめとして、言語というものは、日々常に読み、書き、聞き、口にしている存在です。そのため、各人の日々の行動が、そのままそれぞれの言語能力の向上につながっているということができます。逆にいえば、**言語を一時的に集中学習してみても、それを日常的に反復しない限り、言語能力向上は望めません。**さらに、日頃ひとりで行き届かず同時に、その成果を他者の目に提示し、批判と指導を受けなくては、自らの思考のプロセスや、答案を完成させる言葉が磨かれることはありません。VERITASでは、**教室を離れた日常の場でも英語に繰り返し向き合う機会**を設け、授業で学んだ事柄をいつも自ら復習できると同時に、日常の成果を他者にチェックしてもらうことのできる環境も提供していきます。

## ■ 読んだその日に耳で聞く………> 英文ダウンロード制度

授業で読んだ英語長文は、すべて音声データ化し、授業後ただちにダウンロード配信します。ホームページでは

ホームページ：  
<http://www.veri.co.jp/>



"Why is my textbook so heavy?"  
Unlike many other countries, the United States doesn't have a national curriculum — that is, the federal government doesn't make teachers teach exactly the same stuff, all over the country.

Each state decides what gets taught in its schools. The state government may give all students the same test once a year to make sure everyone is learning the same things. The local government may also add lessons that students in your community should learn.

The state government decides which textbooks teachers and students can use. Depending upon the state's list of standards, what one state wants in a textbook may be very different from what another state wants.

The people who make textbooks want the books used in as many states as possible, so they try to include all the things they think all the different states want.

Still with me? This is why you usually can't get through the whole textbook in a school year, and why your book is so heavy!

■ the same STRUCTURE

- The author made his heroine die.
- She got caught in a shower.
- I feel another person.
- I turned my head to see the moon sinking.
- We got to her house only to discover that she was away.
- Admitting you have a point, I still think I am right.
- Much surprised, he jumped out the room.
- The job she found me is not very interesting.
- The man I thought to be my friend betrayed me.
- I am the man who you thought was dead.

4. 未知の英文への対策として 同一構造の文を添付

※本当は、今日の前にある文の意味がわかりたいわけではありません。今後出会う未知の文の意味がわかるようになりたいわけです。次に同じ構造に出会った時、必ず構造がとれるように、本文の赤線部と全く同じ構造である文をテキストにつけています。

"Why is my textbook so heavy?"  
( ) many other countries, the United States doesn't have a national curriculum — ( ) ( ), the ( ) government doesn't make teachers ( ) exactly the same stuff, ( ) ( ) ( ) country.

Each state decides what gets ( ) in its schools. The state government may give all students the same test ( ) a year to ( ) ( ) everyone is learning the same things. The local government may also ( ) lessons that students in your community should learn.

The state government decides which textbooks teachers and students can use. ( ) ( ) the state's list of standards, what ( ) state wants in a textbook may be very different ( ) what ( ) state wants.

The people ( ) make textbooks want the books ( ) in as many states as ( ), so they try to ( ) all the things ( ) ( ) all the different states want.

Still ( ) me? This is why you usually can't get ( ) the ( ) textbook in a school year, and why your book is so heavy!

## ■ その場で添削+綿密な個人指導………> 英作・要約添削指導制度

毎回の授業において、添削指導を行っています。添削後は受講生を前に担当講師が直接向き合って指導をし、次の一週間で具体的にすべきことや性格にあわせた助言を与えています。

添削課題は、大意要約・和文英訳・自由英作文・英文和訳の4種類からなります。以下は、大意要約と和文英訳の添削サンプルです。

東京大学 前期日程

環境保全の為の2つの相反する最善策の1つは、金に換算できない自然の汚染も悪用防止に対する法律を作ることで、もう1つは環境汚染を促進し、業者は環境税を負担させ、汚染は経済的に無利益だと気付かせる(第10)

80

★構成 A B C  
二項対立の軸が明瞭で好印象

★内容 A B C  
なぜ二項対立が起きたのか、その理由が不明瞭。  
①の部分に「オの最善策ではどうして2つの正解がある。(自然の価値は換算しづらい)」

点 数 7/10

大分大学・医学部

毎日バトカーや救急車(ambulance)が疾走するのを見て初めて彼は日本とはずいぶん違う国へ来たことを実感したのだった。

really a  
He felt that he had come a country which is (very quite) different from Japan by seeing patrol cars and ambulances running everyday. (to see) patrol (ambulance)

every day (つける「毎日は」に72)

① comeは自動詞。 (1つ=種)の整合

② 時制の一致。 which is (省略) (13, 2も0)

③ by-ingは自動詞の手段の活用。意味が通じない。

★〜(理由)の表現方法  
① To (副詞的用法)  
② that SV (理由のthat)

★ミスが多すぎる。せめて構文は100% (2.0に近づけよう)

点 数 3/10

## ■ ヴェリタスの勉強で各種英語検定の資格も手に入れる………> 資格取得制度

ヴェリタスでは、英語学習の励みという意味でも、将来の為という意味でも、受験を利用して資格をとってしまう人が多くいます。講師は、ひとりひとりの現時点での実力に応じ、最も短期間で実力を伸ばすのに適した資格を目標として個別に設定し、その資格取得への具体的なステップを明示していきます。また、同じ目標をもった仲間と、互いに励まし合う環境づくりをしています。1年という長い時間を、資格という形で、もう少し具体的なステップに分けることは、勉強へのモチベーションという意味で、とても効果的なものです。英検準1級以降の各種検定試験は、単なる構造解析力や英文構成力だけでは即解できない、時事的な話題に即した語彙問題や、様々な日常の場面に応じたリスニング問題など、一般的な大学入試の形式とは異なっており、到達時期は学習者の志向や関心によって違いがあります。このように大学受験という意味ではもう余裕のある人には、講師が個別に課題を設定し、指導します。

受験科 Aで 受講開始	受験科 Bで 受講開始	受験科 Cで 受講開始	英検	TOEIC	TOEFL (PBT)	TOEFL (iBT)	国連英検	ケンブリッジ 英検
—	1月	3月	3級	320	410	35	D級	KET
—	1月	4月	準2級	420	450	45	C級	PET
1月	3月	8月	2級	600	510	65	B級	FCE
6月	9月	12月	準1級	790	570	85	—	(CAE)
9月~12月	12月 (読解パートのみ)	—	1級	900~990	630~677	110~120	A~特A	CAE~CPE

もつと

さつと

リレーインタビュー 2019年合格篇 [Vol.5]

「難しい問題でも自信を見失わない」

東京大学文科2類1年  
生駒 舜 さん(開成学園高等学校卒業)



「本質をしることを学んだ」



リレーインタビュー 2018年合格篇 [Vol.5]より

東京大学文科1類2年  
茶谷 晋伍 さん  
(城北学園高等学校卒業)

### 難しい問題でも自信を見失わない

特に夏は模試とかだと、ヴェリタスのような問題はでこないんで、ヴェリタスは難しすぎるって思っていました。でもそれで結果的に自信ができました。冬のテストゼミで、難しい問題にあたったときに引き際がわかったというか、このあたりまでなら自信をもっていけるなっていうのとか、結果的には時間配分がうまくいくようになりました。こういう問題なら時間をかけてできるなとか、この問題は難しそうでもひらめきも必要そうだから後に回そうとか、なんとなく直感でわかってきたんだと思います。どこまでかけばいいかな？って答案作成で先生もおっしゃってましたけど、そういう答案作成の能力は身についたと思います。難しい問題が解けるといよりは時間のマネジメントとか戦略とかそっちのほうに注力できたという感じでした。

### 基本に立ち返れる塾

高2の終わりに、授業で基本に立ち返る機会を与えてくれるっていうのは、ほんとにいい経験でした。ヴェリタス以外あんまりないと思います。多分独学だったり演習メインの授業だったりすると、とりあえず数をこなせってなると思うんですけどそれだけだとやっぱり基本に立ち返る機会ってなかったと思うんですね。3月くらいには苦手意識も消えてきました。基礎をやったからこそ、この式が何を意味しているのかとかそういうところまで理解できるようにはなってきたんですね。なので、自分が何をやっているか見通しがつくようになってきて、自信を持って方針を立てられるみたいな感じでしたね。難しい問題が解けるっていうより、そこそこの問題を根本のほうから考えて論理を理解しながら問題を解けるっていう、つまりは自信がいったっていうことですね。

### 論理的に数学を自ら組み立てる体験

一番楽しかったのは論理をやった高3の夏前。春に方針とか色々叩き込まれて、それをどう組み立てていくかっていうのが夏だったと思います。ヴェリタスの授業だと、先生が答えを最後まで言わないんですね。単に解答を教えてもらうというよりは着眼点、方針、あとは注意点とかをそこそこ抽象的な内容でアドバイスもらうっていう感じですね。なので、聞いたことを全部ノートにメモするというよりは、それを聞いたうえで、もう一度それを自分で考えてみるという形の復習になりました。結構やりがいがあったし、僕はそのスタイルが好きでしたよ。あと解いて面白かったです。

国語科

生まれながら使っているがゆえに  
無意識になっっていることを、  
意識レベルに掘り上げる

### 現代文・小論文科

あらゆる知的行為をつかさどる、言語的感性と素養を錬成  
全ての科目に通底する、対象を見つめる言語構築的視点

### 古文・漢文科

古き日本語の地層を掘り下げ、言語的感性に豊かなふくらみを  
日本語の淵源をたどり、いまの国語力の確かな足場を提供

数学

数Ⅲ

物理

化学

生物

英語

現代文・小論文

古文・漢文

1月～12月

全50回

# 現代文・小論文科受験コース

【開講日】 2020年1月8日(水) 以降毎週水曜日 19:30～21:30

なんとなくわかるけど成績が伸びない

誰もが現代文に抱く感想です。大抵の人は「何となくわかる」ので危機感を抱かず、そして、「どうせ次は全く別の文章が出る」からと、わからない原因も追求せず、ほったらかしにしてしまいます。ここに現代文低迷の原因が潜んでいるのです。

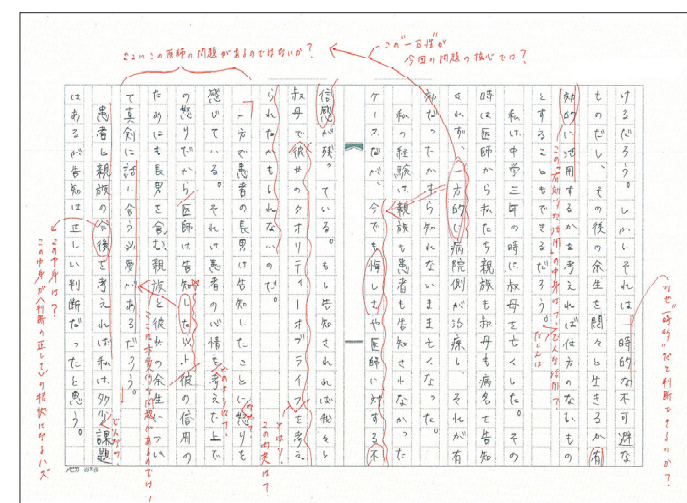
現代文における誤答には、みなさんの18年間生きてきた「思いこみ」が集約されているといっても過言ではありません。「何となくわかったつもり」「思いこみ」です。その程度のあやふやな理解でも、日常生活ではそこまで大きな不自由を来しません。しかし、「わかったつもり」は所詮、「つもり」「理解した」とは程遠いものであり、今後、大学なり社会なりで行う議論、文章活動では、大きく足をひっぱります。それを防ぐ最後の時が、この大学受験なのです。

使い慣れた日本語ですが、この「思いこみ」を払拭するためにも、もう一度初心に戻って、文章の伝達のルールを見直し、自分自身の理解の仕方を見直すこと、このことが現代文の勉強に他なりません。

授業では、「文章=作者から読者への伝達」「解答=出題者とのコミュニケーション」という前提からスタートします。実際の文章の読解を通じて、「読むための原理」「解くための原理」という普遍的なルールを学び、自分自身で様々な文章に運用していくことで定着を図ります。同一テーマについて〈現代文だけ〉もしくは〈小論文だけ〉とせず、実は〈読むこと〉と〈書くこと〉の両輪をバランスよくまわすことが、効率的な実力アップに必要な不可欠なことです。

あらゆる知的行為をつかさどる、言語的感性と素養を錬成

全ての科目のベースラインを  
底上げする役割を担う



■使用テキスト  
 ◎国語受験科現代文—読むための理論編—  
 ◎国語受験科現代文—近現代思想編—

## 春学期 1月～3月

### I 「読むための原理」(論理展開の共通ルール)を理解する

高度な内容の文章を読む際に、文の中のどのような言葉に気をつけるべきなのか、どのような論理展開が一般的であるのか、まずは典型例を学び、そしてその変形を学んでいくという方法をとります。その中で、読解の手がかりとなる「抽象と具象の繰り返し」「言い換え」「帰納と演繹」「集合の絞り込み」など重要な論理展開手法を体得してもらいます。

- 1月
  - 第1講 同格関係を見抜く—具体と抽象
  - 第2講 対比関係を見抜く—二項対立と相対化
  - 第3講 主張の型を知る—肯定と否定のヴァリエーション
  - 第4講 全体へと読みつなぐ—要約の方法
- 2月
  - 第5講 絶対と相対
  - 第6講 主観と客観
  - 第7講 近代をめぐる概念
  - 第8講 「言葉」を疑う

3月 [春学期集中授業] 春学期に学習した現代文固有の論理展開法をコンパクトにまとめ、整理しなおすために特化した題材を使用する問題演習。全5講。

〈1年間の大まかな流れと講義予定〉

## 夏学期 4月～7月

### II 現代思想を理解するのに必要な知識を手に入れる

実は論理を身につけただけではまだ足りません。たとえば、「構造主義の限界」を論じた文章を読む際に、構造主義が何かかわかっていないと当然内容はさっぱりでしょう。このような現代思想の基本的な理解を深めることは、とても重要なことです。逆に、様々なテーマについての背景的な知識があれば、理解は大きく助けられます。また、これと並行してこの期間は、Iの再確認・運用を繰り返して、「読むための原理」の定着を図ります。

- 4月
  - 第1講 価値観の黒幕Ⅰ—科学と技術
  - 第2講 価値観の黒幕Ⅱ—要素論
  - 第3講 自然と人間の関係Ⅰ—理念とイデオロギー
  - 第4講 自然と人間の関係Ⅱ—合理性と非合理性
- 5月
  - 第5講 近代から現代へⅠ—日常と非日常
  - 第6講 近代から現代へⅡ—仕事と遊び
  - 第7講 日本論Ⅰ—文化の越境
  - 第8講 日本論Ⅱ—日本と西欧
- 6月
  - 第9講 自己へのまなざしⅠ—近代における自己
  - 第10講 自己へのまなざしⅡ—自分を語るということ
  - 第11講 身体の不思議Ⅰ—脳死と心臓死
  - 第12講 身体の不思議Ⅱ—私の身体は私の意志に従う?

- 7月
  - 第13講 歴史とは何かⅠ—「歴史」と「過去」に楔を打ち込む
  - 第14講 歴史とは何かⅡ—歴史を語る主体、読む主体
  - 第15講 生と死Ⅰ—私が死ぬこととあなたが死ぬこと
  - 第16講 生と死Ⅱ—「正常」と「異常」

## 夏学期 8月

### III 「解くための原理」を完成する

文章が作者から読者への伝達ならば、問と解答は出題者と皆さんとのコミュニケーションです。春学期と夏学期を通じて蓄積してきた、文章がもつ論理展開の的確な把握法と、文章理解に奥行きをもたせる現代思想の理解を強力な後ろ盾として、文章の精確な読解を行うだけでなく、読み取った情報と自らの理解を、他者にわかりやすく伝達させてゆく技法を、この時期から磨きこんでいきます。冬学期から開始される本格的なテストゼミナールを前に、この時期は「出題意図の把握と適切な対応法」を中心に論じ、実際の問題を素材として使用しながら、個々の解答作成法を洗練させます。

8月 [夏学期集中授業] 夏学期に学習した現代思想の枠組を整備し、具体的な設問の要求を見抜くための実践的問題演習。全5講。

Q 私大のみの受験を考えているので、本番では択一型の問題しか出ないのですが、記述対策は必要あるのでしょうか？

A 択一型の問いに、確実な精度で答えるためには、実は記述型の訓練が必要です。「次の選択肢の中から最も適当なものを選びなさい」が択一型の形式ですが、選択のための基準づくりには、結局は勘に頼ることになり、その日のコンディションによって成績がふらふらになります。記述対策はまさに、この「基準」作りの訓練として不可欠なものなのです。

## 冬学期 9月～12月

### テストゼミナール

本番に即した形でのテストゼミ(演習+解説)となります。毎週、さまざまな領域から出典され、その領域特有の多様な文体をもつ文章を題材とした、高度な実践レベルの論述問題に取り組んでもらいます。

これにぶれることなく安定的に対処するには、これまでに蓄積してきた

- I 「論理展開の手法」
  - II 「現代思想の知識」
  - III 「出題意図の把握と適切な対応法」
- を総動員し、適切などに適切な仕方でも運用することが必要となります。解説では、この総合的運用の手本を提示しながら、問題文で傍線部とされた難解な叙述を誰にでも理解できるわかりやすい表現で解釈伝達する答案作成の模範を示します。これを自ら反復実践する経験を積んでもらうことで、どんなジャンル・テーマ・文体の文章が出題されても揺らぐことのない、精確な読解力と明確な表現力の両方を完成させます。

9月以降は、テストゼミナール形式となります。

### [option] 小論文添削討論日曜講座

- 10月～12月開講
- 添削実施テーマ
  - [B 生命医療系]
    - B1 告知
    - B2 死の定義は科学的に決定されるべきか  
文化的に決定されるべきか
    - B3 脳とコンピュータの差は何か
    - B4 遺伝子診断
  - [P 思想哲学系]
    - P1 自然保護は何を守ろうとしているのか
    - P2 創り出される歴史
    - P3 脳とコンピュータの差は何か etc
- 好きなテーマの回に参加できます。

1月～12月

全50回

# 古文・漢文科受験コース

[開講日] 2020年1月8日(水) 以降毎週水曜日 17:00～19:00

古典は現代語の母体であり、同じく日本語から成っています。従って、何となく読めたという感覚を抱きやすいものです。しかし、その感覚は、現代語・現代常識に拠ったものであり、膨大な時間を隔てた古典の世界とは大きく異なります。日常的な言語感覚への安易な寄り掛かりは、皆さんを誤読へと誘導する落とし穴となるものです。

## I 語学として古典と向き合う

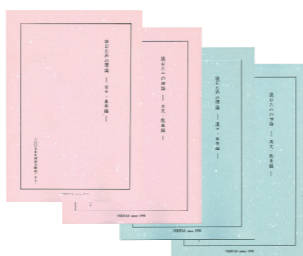
このような状態を脱するためには、知っている日本語として扱うのではなく、別の言語として、つまり、一度、古典を語学として見直し、その手法を用いて向き合う必要があります。文法や語彙の蓄積によって英語を勉強してきたように、古典文法や語彙を皆さんの中に蓄積すればよいのです。英語に比べれば、文法・語彙ともに非常に少ない量でマスターすることが可能です。

## II 古典という文学作品を味読する

実は、Iではまだ不十分です。古典の世界では、何がどうであるという読み取った事実が、現代と同じ意味を持ちません。それは世界観が異なるためです。例えば、空が白んだり鶏が鳴いたりという事実は夜明けを表すと同時に、恋人との別れの時刻を意味します。このような内容を精読するためには、古典の世界観—古典常識—を手に入れる必要があります。授業では、歴史の流れの中に古典常識を位置付け、古典作品が生み出された時代背景とともに講義していきます。

文法・語彙・古典常識の三本柱を完成させ、その力を様々な文章に繰り返し運用する。これが、古典における最も効率的かつ正統的な方法です。この方法によって身についた読解力は、内容の正確な読解を可能にするのみならず、<sup>TV</sup>文学作品としての古典を味読する面白さを実感させてくれるはずです。

古き日本語の地層を掘り下げ、  
言語的感性に豊かなふくらみを  
日本語の淵源をたどり、  
いまの国語力の確かな足場を提供



- 使用テキスト
- ◎読むための理論—古文・基本編—
  - ◎読むための理論—古文・教養編—
  - ◎読むための理論—漢文・基本編—
  - ◎読むための理論—漢文・教養編—

## 春学期 1月～3月

### I 解釈技法の基礎完成

一文法・敬語をどう利用するか—  
文法事項を中心に文章を読むための基本原理を身に付けます。授業では、これを、無味乾燥な量的暗記に頼るのではなく、文法はどのような役割を担っているのか、言葉の意味はどのようにして定まったのかという原理から考えます。これによって、意味あるものとしての生きた文法体系と語彙を手に入れることができます。

1月・2月

- 【古文】**  
■古文の学習方法  
第1講 最低限の省略と決まり事  
第2講 長いものは短く  
第3講 文のレベルを区別する—会話文と地の文—  
第4講 短いまとまりを正確に読む  
①S+Vを明らかにする  
第5講 ②Vに付属する語を判別する  
第6講 ③敬語を克服する  
第7講 文章を正確につなぐ・埋める  
第8講 正確に読む

- 【漢文】**  
■漢文の学習方法  
第1講 中国語の文構造  
第2講 困った時の訳し方の手順  
■句法  
第3講 この字を見たらどうする? (再読文字)  
第4講 この字を見たらどうする? (否定)  
第5講 この字を見たらどうする? (使役・受身)  
第6講 この字を見たらどうする? (如と若)  
第7講 この字を見たらどうする? (反語と抑揚)  
第8講 その他注意すべき字 (強調と比喩)

3月 [春学期集中授業]

- 【古文】**  
無視できる敬語  
和歌—枕詞・序詞・掛詞・縁語  
文脈をつなぐ—指示語  
精確に訳出する・次にくるものは

- 【漢文】**  
第1講～第8講を踏まえた問題演習

〈1年間の大まかな流れと講義予定〉

## 夏学期 4月～7月

### II 古典の世界観を手に入れる

ジャンル・時代を通して様々な文章を読み、古典に特有な世界観や常識を学びます。実際の文章を読むに際して、1～3月に蓄えた文法力を運用し、定着を図ります。また、この時期は、毎週、単語テストを行い、語彙力の強化を目指します。

4月

- 【古文】** ■古典の世界観  
第1講 仏教説話—世界の動き方  
第2講 歴史物語—権力の所在  
第3講 世俗説話—天皇家と藤原家  
第4講 随筆—漢詩文の位置  
**【漢文】** ■中国史  
第1講 春秋戦国時代  
第2講 秦帝国  
第3講 漢の建国  
第4講 三国時代・隋・唐

5月

- 【古文】** ■恋愛の形  
第5講 結婚までの道程  
第6講 歌物語—恋愛のルール  
第7講 和歌—男女のかけひき  
第8講 日記—幸福と不幸の見抜き方  
**【漢文】** ■基本の思想  
第5講 儒家  
第6講 法家  
第7講 道家  
第8講 思想文の型

6月

- 【古文】** ■物語の読み方・様々な文章  
第9講 源氏物語  
第10講 芸能について  
第11講 武者の世の到来と無常観  
第12講 鎌倉時代の文学  
**【漢文】** ■漢詩  
第9講 漢詩のルール①  
第10講 漢詩のルール②  
第11講 限られた言葉で作られた世界を理解する①  
第12講 限られた言葉で作られた世界を理解する②

7月

- 【古文】** ■様々な文章  
第13講 軍記物語  
第14講 俳諧  
第15講 近世の文学  
第16講 国学  
**【漢文】** ■様々な文章  
第13講 説話  
第14講 随筆  
第15講 手紙  
第16講 史実

## 夏学期 8月

### III 定着と発展研究

古文においては、既に学んだ古典文法・語彙・古典常識を、漢文においては、文構造、漢詩、中国文学史、用法等の復習と定着を兼ね、まず、2題の例題を解いてもらい、解説を加えていきます。次に、その例題を踏まえて、より高度な入試問題、あるいはそれをさらに発展させた研究問題を解いてもらい、解説を加え、9月以降のテストゼミに接続する能力を養成します。

8月 [夏学期集中授業]

- 【古文】** 第1講～第16講を踏まえた古典常識の再認識と様々な形式の問題演習。全5講。  
**【漢文】** 第1講～第16講を踏まえた問題演習

## 冬学期 9月～12月

### テストゼミナール

9月以降は、古文・漢文とも計16回の本番に即した形でのテストゼミ(演習+解説)となります。どんなジャンルや時代の作品にもかかわらず、これまで蓄積した語彙、文法、古典常識を駆使することによって、自力で一文一文、ごまかしや飛躍、勝手なつじつま合わせのない、正確な解釈をとる訓練を反復してもらいます。また、このテストゼミ16回を通じて、どんな作品が出題されても、制限時間内で逸脱のない安定した解釈力を発揮できるように、主要な作品のジャンル・テーマを網羅してもらいます。とくに、和歌(枕詞、序詞、掛詞など景色と心情が重なった描写法)を読み取る力や、老子、荘子の用いる比喩などの漢文独特の世界観を作品を通して体感する力の完成度を高めます。

9月以降は、テストゼミナール形式となります。

**古文** ピンポイント  
レッスン

絶対覚える、古文単語【ベスト15】

わりなし	ゆかし	めでたし	はしたなし	なかなか	なつかし	さすがに	こちたし	ときめく	かたはらい	おとなし	いたし	あいなし
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ことわり理がない	やさしい	めでた	端(はし)でない	中途半端でやだ	なつか	寒(さ)む	事が痛い	時	傍らで痛い	大人	甚(いた)し	合わない
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
どうにもならない	知りた	ほめたたえたい	中途半端な	むしろ	うつつしい	それはそうなのだがでも	活躍している	気の毒な	しつかりしている	極限の	気がくわない	口語訳

現代語からなんとなく意味を推測すると、致命的な誤読になってしまう単語たち。学校の試験や模試のたびに覚えてしまおう！

**Q** 学校でやった文法を覚えても、全然読めるようにならないのですが…。

**A** おそらく学校では、文法問題(文法に関することをきく問題)のための文法の解説の比重が多いのでしょう。しかし、文法をやることの最大の意義は、未知の文章を文法を手がかりにして意味をとることにあります。古典受験科では、文法事項を、新しい文章を読む為にどう生かすかという視点で、常に授業を行います。併せて、現代語と異なる語彙、現代と異なる古典世界の常識を網羅し、文法、語彙、常識の三つの武器を成します。

在籍者データ編 No.1

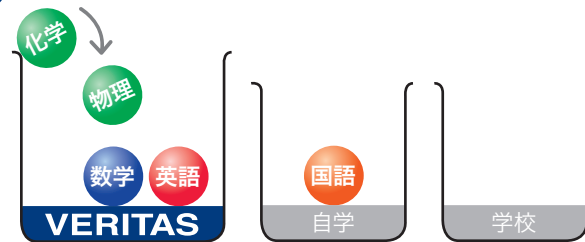
どの科目を塾で受講し、どの科目を自学、もしくは学校で何とかするか戦略。

パターン A 理系科目徹底伸張型 最も多いパターンの一つ (受講生の約30%)  
主な志望校: 東京大学理科各系、国公立医学系



東大入試において、難易度が高く、また、単なる知識の蓄積だけではなく、問題を構成する背景や諸原理まで理解することが求められる数学や物理科目を重点的に学習する計画です。知識の多寡がものをいう化学、および、理系志望者にとっては優先度の低い国語を自学ですすめていきます。(これに、化学受講を加えるAB中間型の方も、一定割合います。)

パターン B VERITAS科目集約型 最も多いパターンの一つ (受講生の約30%)  
主な志望校: 東京大学理科各系、国公立医学系



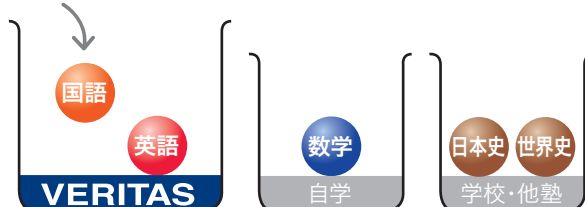
2次試験で必要となる科目をVERITASではほとんど網羅してしまうパターンです。他塾と兼用すると、授業時間や回数・講習の期間などが少しずつ異なるため、バランスを保って学習をすすめることが困難です。このパターンでは、VERITASに通うだけでよいという安定感があります。

パターン C 医学部理科重点強化型  
主な志望校: 国公立医学部メイン私立医学部併願系



国公立大学が求める理科の高い理解水準と解くスピードを満たすためには、付け焼刃の知識で武装するだけでは不十分です。ゼロの状態から諸原理の歴史的成立過程を追うようにVERITASで学ぶことが、迂回路のようでいて、実は最短の経路であるといえます。(理科を3科目受講したい場合、3科目めを無料で受講することができます。)

パターン D 語学重点強化型  
主な志望校: 国公立文系学部



文系で、数学は苦手と間に合いそうにないが、英語と国語をとことん伸ばすことでそのギャップを埋めようとする人のための組み合わせです。ともすれば感覚的な解き方に陥りがちな語学をVERITASで体系的に学ぶことで、安定した高水準の得点を目指すことができます。

パターン E 重要科目強化型  
主な志望校: 東京大学文科各系



東大志望の文系だが、文系科目は得意でもあり自ら学習をすすめていき、配点・難易度が高く、試験時間の処理技術を磨くことも必要となる数学や英語を重点的に学ぶパターンです。

パターン F 弱点克服型  
主な志望校: 東京大学理科各系



得意な理系科目を伸ばしつつ、東大をはじめとする一部大学では2次試験でも要求される国語(古典)の苦手意識を克服するためのパターン。東大理科各系志望者には、やればできるはずの古典をおろそかにし、入試の結果に悪く影響する事態が後を絶ちません。

在籍者データ編 No.2



一目で分かる、先輩たちの、  
初回の授業の印象、全科目ラインナップ!

数学 金曜日クラス

- 非常に論理的な授業で、はじめて知ったことがたくさんあった。
- 式に対する新しい捉え方ができた。数学を久しぶりに楽しめたと感じた。

数学 月曜日クラス

- 4時間は長いと思っていたけれど、あっという間でした。
- なんでそういう風に解くのか、普段はとばすような説明もしていただけたのがよかった。

数学 金曜日クラス

- 分野別にしっかり学びなおせた所。
- 式や文字の新しい見方を知った。
- 逆像あやふやだったけどよかった!
- どうしてその考え方に至るのか解説してくれる所。

数学 月曜日クラス

- 講師室で気軽に色々質問させてもらったのが良かった。
- 佐々木先生がまじでやさしかった。
- めっちゃ集中できた。

数学 日曜日クラス

- 基礎の基礎からやってくれたので、この調子ならやっていけそうだなと思った。
- 前に微分の講習の時、極限をやった時は曖昧にしか理解できていませんでしたが、今回謎が解けました。

英語 木曜日クラス

- これほど本格的な内容の授業は初めて受けた。感動した。
- 短文精読の授業で、文法構造がすごくわかりやすかったです。久しぶりに授業を受けて楽しかった!

数学 日曜日クラス

- こんなに早く複素数平面が終わって、おどろきでした。
- 二次曲線の表示方法等の解説が式変形等を中心に丁寧に解説していただき、理解に詰まる所があまりなくて良かったです。

英語 木曜日クラス

- 文法の問題では派生する文法事項等を丁寧に説明していただいたことがありがたかったです。
- 長文で文法を細かくやってくれたので、内容をきちんと理解できた。

英語 木曜日クラス

- 説明の仕方、授業の進め方が簡潔でわかりやすかった。
- 理解の仕方について研究がなされているのを感じた。基礎から高度な内容まで幅広く教えてくれている感じがした。

物理 土曜日クラス  
水曜日クラス

- 物理を微分積分で解くのは初めてだったが、公式を丸覚えしなくて良かった。
- 物理の勉強だけでなく、数学の勉強にもなった。すごくシステマティック。

英語 木曜日クラス

- 織田先生は神だった。最後まで親身になって対応してくれた。
- 基礎の部分から丁寧にやってもらえたので、分からなかった部分に分かるのを感じた。
- 面白くて時間があっという間に過ぎました。

物理 土曜日クラス  
水曜日クラス

- 時にマニアックですが、VERITASの名に恥じない真理を教えてくれた。
- 何より講師の物理好きが伝わってきた。
- 公式を覚えなくても問題が解けること。

化学 火曜日クラス  
土曜日クラス

- 学校でただ覚えるようにと言われたところでも、なぜそうなっているのか、原理に遡って理解する方針がすごい。
- なぜ周期表に谷があるのか、わかって驚いた。なぜそうかと思ったこともなかったので、スゴイ!

生物 土曜日クラス

- 基本的な事柄から発展的な内容に展開していくのがとても理解しやすかった。
- 無機イオンや触媒など、一つ一つの事柄についての説明があった、とてもわかりやすかった。

化学 火曜日クラス  
土曜日クラス

- 苦手だった有機がコツをつかんだら楽しくなってきた。テキストに対応した復習問題があったので復習がしやすかった。
- 論理だてて説明してくれる感じがして、知識が有機的につながる。

生物 土曜日クラス

- 生物実験のこととかも話してくれて良かった。
- 図や表がわかりやすくて、ポイントを教えてくれる。
- 前回の復習を授業前にして、受験にでそうなものを教えてくれる。

国語 水曜日クラス

- ディスカッションで自分の思考になかった点がたくさんあることがわかり、自分も頭を働かせ続ける必要を感じた。
- 今までの現代文の考え方が変わるような授業でした。

国語 水曜日クラス

- 問題集の解説で納得できないことが多かったので、細部まで注目して解説して下さる授業は、受けていてすっきりした気持ちになりました。
- 知識が色々な所から出てきて話が広がる。

国語 水曜日クラス

- 世の中の捉え方が一歩違って、毎回感心していました。
- ざらっとスクールの大きいことや、ためになることを言ってくれて良かった。

国語 水曜日クラス

- 漢文を英語に置き換えた説明等が非常にわかりやすかった。
- 基礎の入り口から学習できて良かった。
- 他の問題にも応用しやすい形になっている。

在籍者データ編 No.3

在籍高校一覧と、出身卒業生サポート状況

[在籍者の高校一覧] あいうえお順

◆在籍20人以上の学校

桜蔭\* 女子学院\* 白百合\* 東洋英和\* 都立日比谷\* 本郷\* 武蔵\* 早稲田\* 聖光学院 成城 世田谷学園\* 洗足学園 高輪 中央大学附属 田園調布雙葉 東京女学館 東京農大第一 東工大附 東大附属 桐朋 都立青山\* 都立小石川\* 都立竹早 立教女学院 立教新座\*

◆在籍10人以上の学校

麻布\* 東京学芸大学附属\* 慶應女子 共立女子\* 光塩女子 攻玉社\* 渋谷教育学園幕張\* 雙葉\* 聖心女子\* 東邦大東邦\* 東洋英和\* 都立日比谷\* 本郷\* 武蔵\* 早稲田\* 聖光学院 成城 世田谷学園\* 洗足学園 高輪 中央大学附属 田園調布雙葉 東京女学館 東京農大第一 東工大附 東大附属 桐朋 都立青山\* 都立小石川\* 都立竹早 立教女学院 立教新座\*

◆在籍のある学校

ICU\* 青山学院\* 浅野 跡見 市川 浦和明の星 栄光学園 江戸川取手\* 鴎友学園女子 大妻 開智 かねつ有明 加藤学園暁秀 吉祥女子 京華 九段中等 慶應義塾

慶應湘南藤沢 県立浦和 県立大宮 県立千葉\* 県立船橋 晃華学園 國學院 國學院久我山 栄東 サレジオ 品川女子 芝浦工大附 渋谷教育学園渋谷\* 淑徳与野\* 頌栄女子\* 逗子開成 成蹊

\*[卒業生による高校両立サポート]

麻布高等学校卒業 桜蔭学園高等学校卒業 お茶の水女子高等学校卒業 海城学園高等学校卒業 開成学園高等学校卒業 暁星高等学校卒業 攻玉社高等学校卒業 駒場東邦高等学校卒業 芝高等学校卒業 渋谷教育学園渋谷高等学校卒業 渋谷教育学園幕張高等学校卒業 女子学院高等学校卒業 白百合学園高等学校卒業 巣鴨高等学校卒業 千葉県立千葉高等学校卒業 筑波大学附属高等学校卒業 筑波大学附属駒場高等学校卒業 東京学芸大学附属高等学校卒業 東邦大学付属東邦高等学校卒業 東洋英和女学院高等部卒業 都立西高等学校卒業 都立白鷗高等学校卒業 都立日比谷高等学校卒業 豊島岡女子学園高等学校卒業 雙葉高等学校卒業 武蔵高等学校卒業 早稲田高等学校卒業

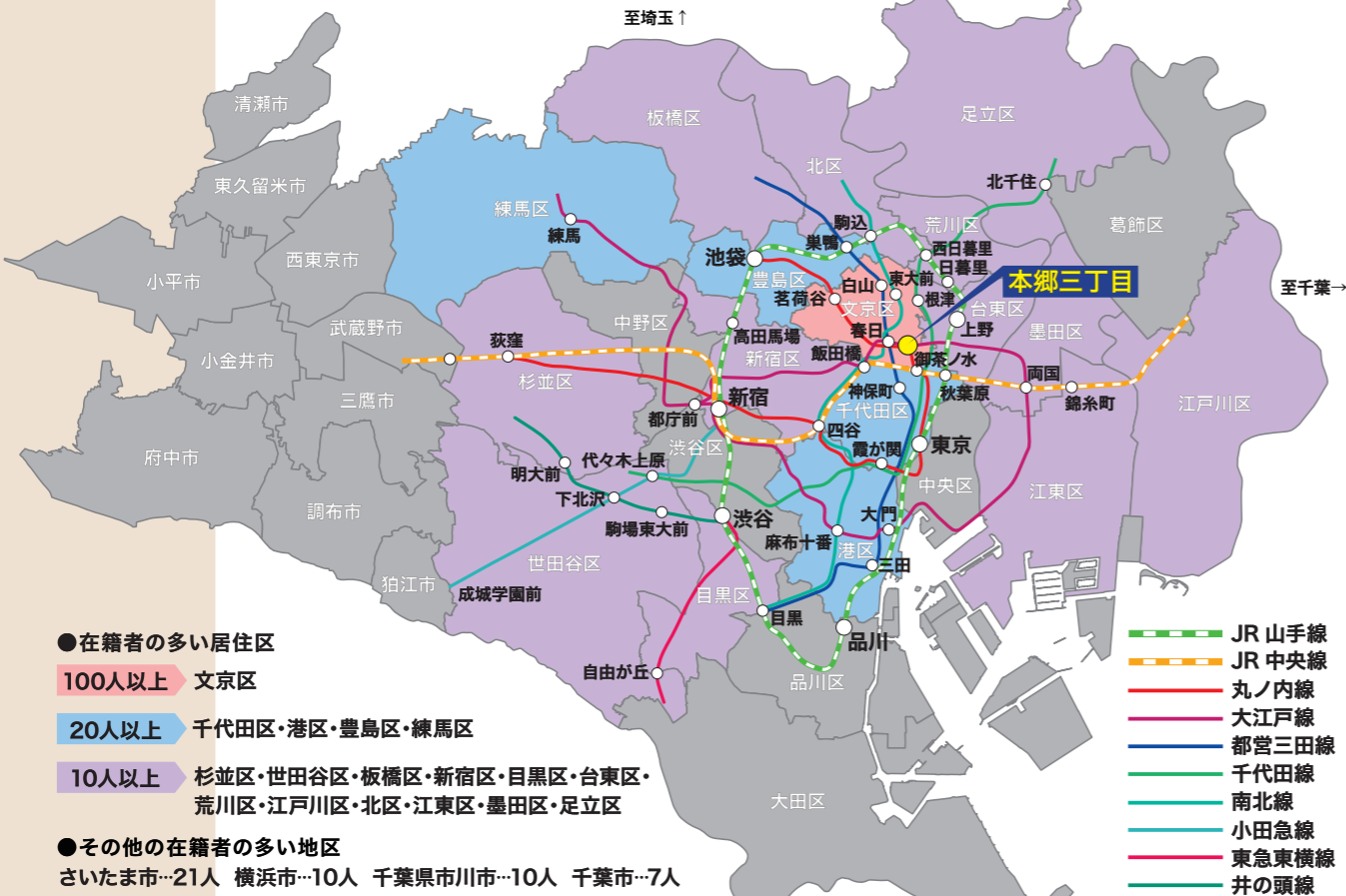
市川 椋雅(医科歯科) 藤田 萌実(京大) 深澤 桂子(東大医) 内山 絢登(筑波医) 松永 響(東大) 神永 達哉(京大) 北川 大喜(東工) 高橋 昂平(東大) 山内 駿(東大) 田鎖 悠一(京大) 俊 徳保(千葉医) 遠藤 梨聖(東大) 洪 美希(慶應医) 上野 航(東大) 武石 健太(医科歯科) 佐野 隆一郎(医科歯科) 村松 宏祐(東大) 長尾 超(京大) 白石 朋敬(慈恵医) 塩津 順子(女子医) 伊藤 謙一(広大医) 飛田 一樹(東大) 後藤 夏都人(東大) 野木 香住(東大) 原田 瑠衣(慈恵医) 森本 将崇(東大) 長崎 舜(東大)

\*は卒業生サポートを受けられる学校です。

(一部のみです)

(一部のみです)

居住地区在籍者状況&交通アクセス



●在籍者の多い居住区

100人以上 文京区

20人以上 千代田区・港区・豊島区・練馬区

10人以上 杉並区・世田谷区・板橋区・新宿区・目黒区・台東区・荒川区・江戸川区・北区・江東区・墨田区・足立区

●その他の在籍者の多い地区

さいたま市...21人 横浜市...10人 千葉市市川市...10人 千葉市...7人

授業外サポート編

Support.1 勉強時間偏り防止サポート

時期別に、科目間の勉強時間のバランスを徹底しています。(受験課)

受験はトータルで考えねばならぬということは頭でわかっていても、つい得意な科目ばかり勉強してしまったり、逆に苦手な科目ばかり勉強し、残りを油断したりしてしまいがちなものです。数学・国語・英語の主要科目と、高校3年生から本格化する理科・社会の学習法をはじめ、科目間でどうバランスをとって学習すべきかについて、1年間の中で、この時期には何を絶対せねばならぬのかということ、科目ごとの講師が行うのではなく、全体を見据えた講師が総合的なアドバイスをします。

生徒用 面談机(2号館)



Support.2 受講していない科目の質問・受付サポート

「受講していない科目」の質問・勉強の指針・ペース配分も、希望者にアドバイスします。(講師室)

自分で勉強していて一番問題となることは、わからないことをクリアにする場がないということです。そのため、曖昧のまま放置されがちですが、ヴェリタスでは受講していない科目であっても、講師室で自由に質問することができます。自分で使っている参考書、問題集などを持参し質問する人が多数です。また、どの時期にどこまで終わっているべきか、今から遅れを取り戻すには?など個別のペース配分の設定もいたします。加えて、受講していないクラスのテキスト・授業ノートも、勉強の必要に応じてお渡ししています。参考書に比べ実際の授業ノートは、臨場感とくだけたわかりやすさに富み、ある程度得意な科目の場合は、授業ノートのみで勉強することもおすすめの勉強法です。

ロビースペース(43ページ 2号館内図参照)



Support.3 進路リスク最小化サポート

進路にとって最適な、科目選択、志望校をアドバイスします。(進路相談室)

例えば国立医学部志望の場合、大学入学共通テストの比重が高いため、どこかの大学を受けるのかは大学入学共通テストの点数が確定しないと、現実的には決めることが難しいのが現状です。このような不確定な状況の中で、どのような科目選択、想定志望校をもつことが、リスクを最小化できるのか、また途中で進路が変わる等の不確定性に対応できるかなど、短期的視野と長期的視野を両立したアドバイスをいたします。

学習相談室(42ページ 1号館内図参照)



Support.4 保護者の方の不安解消サポート

受講しているクラスの担当講師と保護者の方が、随時面談することができます。(保護者様課)

一緒に暮らしていても、大人と子どもの過渡期であり、わからないことも多く、子どもの為を思っているアドバイスが悪循環に向かわせてしまうことも多い時期です。学習状況も含め、勉強面、進路面、生活面、体調管理面など、多角的に、子どもとどのように向かい合っていくことが合格につながり、かつ一人の大人として子どもを尊重し、良い将来に向かって行くことができるのかをお話させていただきます。7月には定期保護者面談会もごさいます。

保護者用 面談机(2号館)



Support.5 経済的サポート

経済的事情で受講に困難を伴う方のための授業料免除制度を設けています。(経理課)

国立大学における授業料免除制度と同様の趣旨による、授業料免除制度がごさいます。この制度は成績優秀者を対象とするものではなく、ヴェリタスで学びたいという意欲があるにも関わらず、経済的諸事情から受講に困難を伴う受講生を対象とするものです。所得・家庭事情に応じ、全額免除・3/4免除・半額免除の三種がごさいます。(下記募集要項は簡易版のため、ご希望の方は正式な書面を受付よりお取り寄せください。)

授業料免除制度募集要項

- 制度の概要
●全額免除・3/4免除・半額免除の三種を定めます。
●免除の対象期間は1学期間(集中授業も含む)とします。
●免除を定められた場合、全ての受講科目(数学、英語については要クラス認定)において授業料を免除します。科目数の上限は定めません。
●2回目以降は手続きのみとします。(新規に申請書類を整える必要はありません。ただし、受講科目を変更する場合は、年度が変わり受講クラスが変わる際は新規扱いとします。)
■応募資格
●ヴェリタス内部生(会員(数学、英語については認定されたクラスに限ります))
●入塾試験を通過した外留学生
※著しい体調不良以外の理由で授業を遅刻・早退および欠席しないことを条件とします。
■募集人員 若干名
■提出書類
1.願書(所定用紙)※備考欄に免除に必要な状況を具体的に記入してください。
2.受講申込書

- 3.家族全員(就学者を除く)の前年分の所得証明書、課税証明書、非課税証明書のいずれか(正本)(発行所:市町村役場)
4.両親の、前年分の源泉徴収票(正本)(発行所:勤務先)もしくは確定申告書の控えの写し(要税務署受取印)(発行所:税務署)(春学期の申請の場合は今年分、その際、勤務先の事情により源泉徴収票が提出不可能な場合は、年収見込証明書もしくは12ヶ月分の給与明細の写し)
5.小論文(下記の課題を800字程度で自由にまとめてください。但し、ワープロ・パソコンは使用不可。)[学ぶとは何か、(あなたにとって、あなたの人生の中で「学ぶ」とはどのような意味をもつか)]
■選考方法/提出書類を審査委員会にて選考し、その結果をご自宅に通知します。
■申請手続き/応募希望者は、必要書類を事務まで提出してください。
■申請締切日/春学期(1月開講):12月10日締切
夏学期(4月開講):3月10日締切 冬学期(9月開講):8月10日締切
■世帯収入基準額
世帯人数 2人:2,660,000円/3人:3,060,000円/4人:3,340,000円/5人:3,600,000円/6人:3,780,000円/7人:3,950,000円
※大体の目安でこの所得金額以下が免除の審査対象となります。備考欄に書かれた内容など総合的に審査するため、上記の額が絶対的のものではありません。
(文部科学省通知 第二九五号による http://www.mext.go.jp/b\_menu/hakusho/nc/20010328001/20010328001.html)

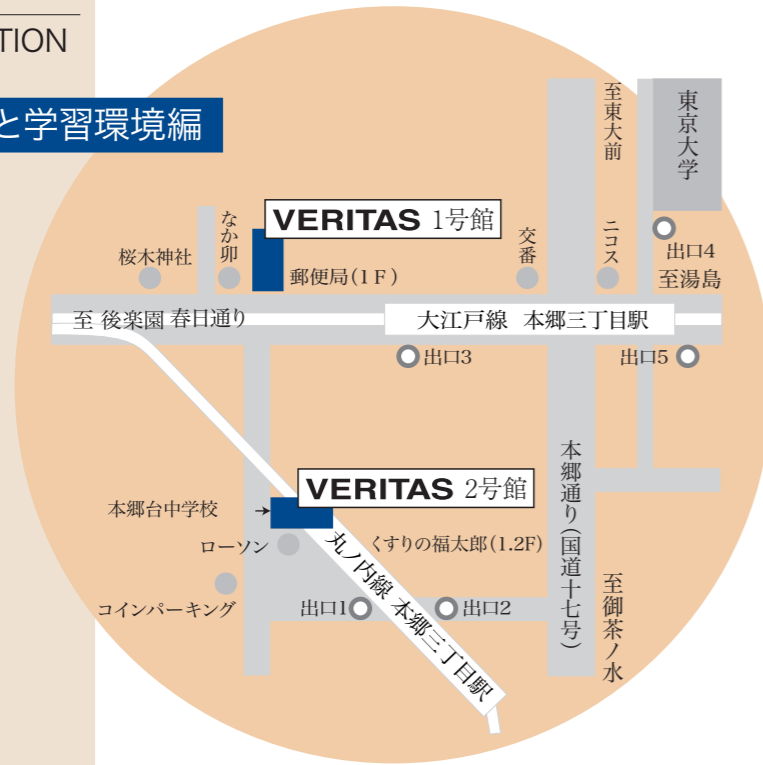
特別教室



物理実験教室風景

コース授業内容の、より深い理解と、様々な問題に対する予測性や視野を広げるため、不定期で特別授業が開かれます。受講していない科目でも無料で受けることが可能です。

館内案内と学習環境編



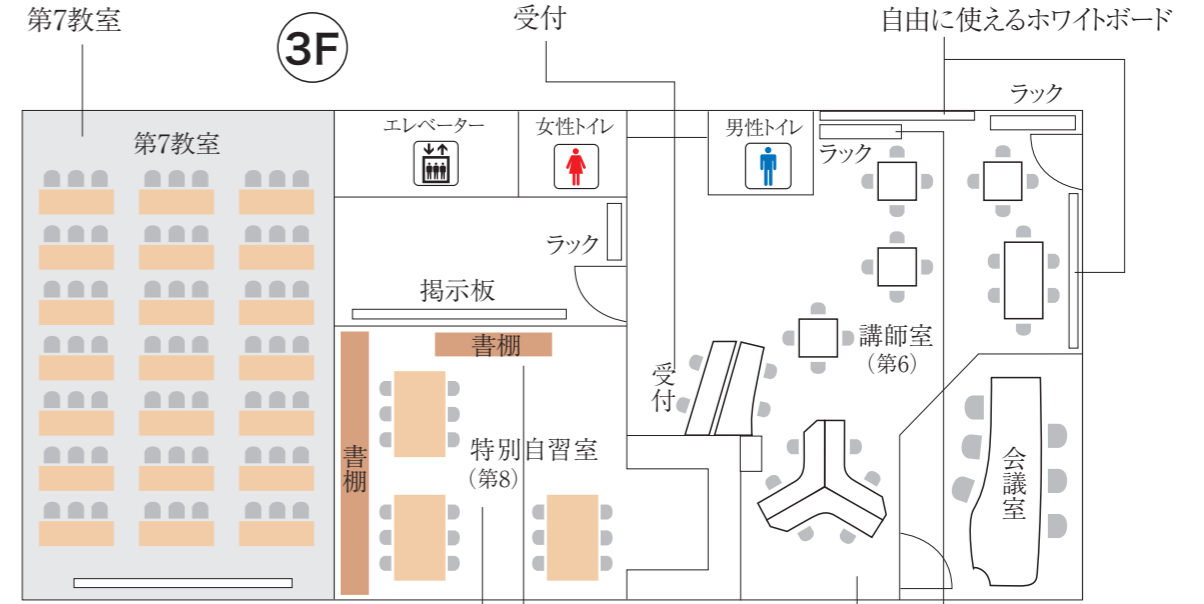
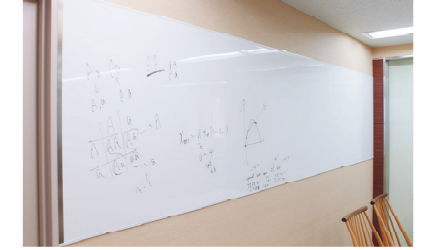
丸ノ内線本郷三丁目駅の目の前です。



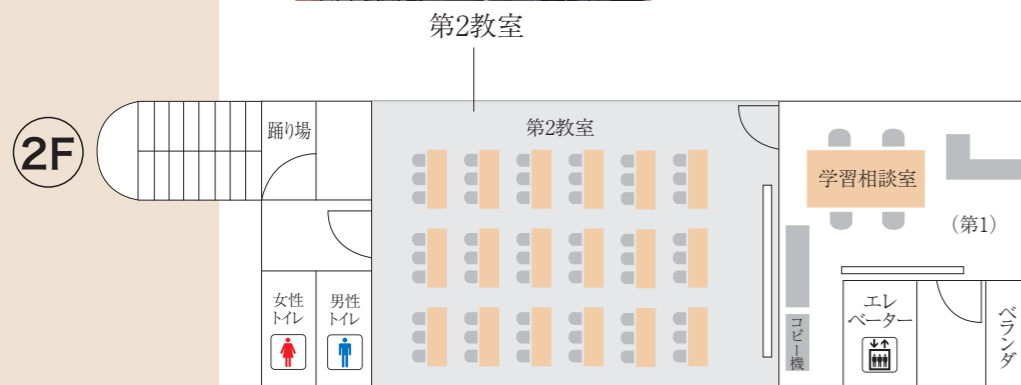
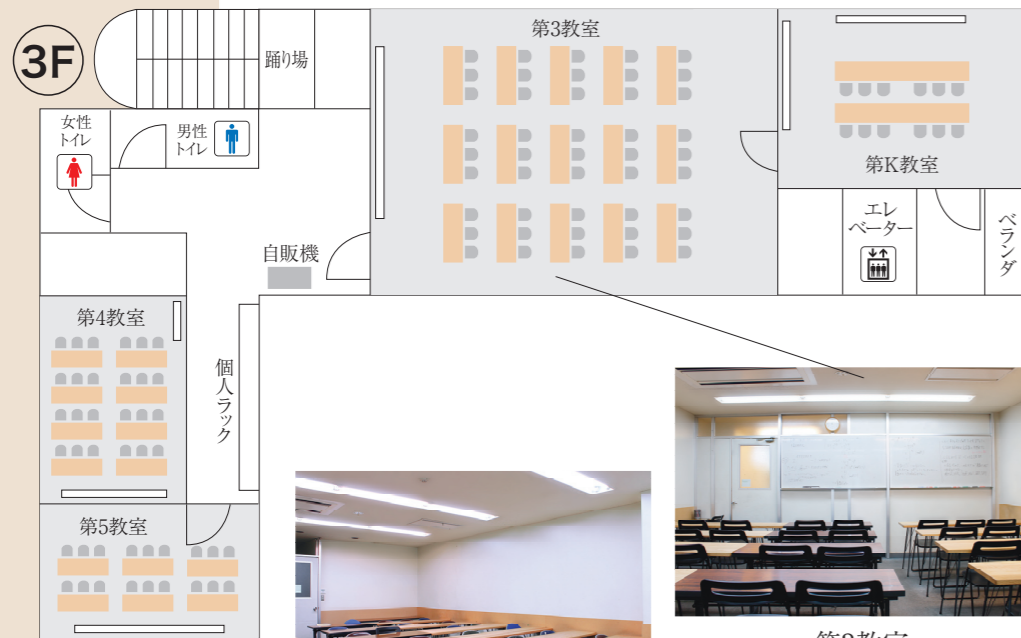
2号館講師室にあるホワイトボードで自由に議論ができるのもヴェリタスの良いところ。



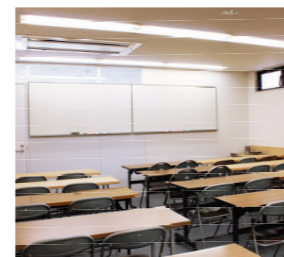
VERITAS 2号館



VERITAS 1号館



教室



講義に使用していない1号館3階教室は、自習室と同様、自由に使うことができます(勉強目的の場合に限る)。また、講師と自主ゼミを開きたい場合など、事前に申し込みをすれば1教室全体を借り切ることができます。

自由に使えるコピー機



ヴェリタスでは、学習相談室にコピー機を設置しています。受講していない科目のテキストや授業ノートも勉強の必要に応じてコピーすることができます。別クラスのノートが欲しいときは、指定の申請書に必要な事項をご記入の上、お申し出ください。

特別自習室



自習室は日・祝日を含め、毎日朝8:30～夜22:30まで自由に使うことができます。自習室外にはコピー機、自動販売機、個人ラックを用意しています。また、2004年5月より東大の総合図書館閲覧室を模した特別自習室を開設しました。十数年にわたって東大生の間で最も勉強しやすいと評判であった、部屋の雰囲気・机の広さ・椅子の高さを出来る限り忠実に再現した自習室となっています。

講師室の出入りが自由なので、受講科目以外の先生にも自由に質問ができます。



推薦参考書



特別自習室の本棚には卒業生・講師から寄贈された参考書・各教科関連の読み物が置いてあります。また、**★**東京大学をはじめ、各大学の「研究室」の教員・助教・院生の方々から推薦図書を挙げてもらい、受講生が受験だけでなく、さまざまな分野の参考になる書籍も取り揃えています。

テキスト・授業ノートラック



ヴェリタスでは、過去の全クラスのテキストやノートを公開しており、受講していない科目でも、テキストコピーとノートコピーをもらうことができます。このシステムにより、時間の関係上受講できない科目や、得意なので受講しなくてもノートで勉強できる科目などの自習をすることが可能です。

講師室・兼自習室



受付横のロビースペースはフリーアドレス制になっています。講師が作業する横で、生徒が勉強し、質問したり、友達と学び合ったりするという、オープンな形の講師室を実現しています。4方の壁は全てホワイトボードになっており、いつも数式やアルファベットであふれています。

講師データ

数学科

主任	谷道 正太郎	東京大学理学部数学科卒 東京大学大学院数理学研究科修了 (専攻:微分幾何学)
主任	永島 孝嗣	東京大学医学部医学科卒
主任	佐々木 一洋	東京大学教育学部総合教育科学科卒
副主任	藤井 元紀 (兼)	東京大学理学部数学科卒
	加藤 智敬	東京医科歯科大学医学部医学科卒
	飯田 俊朗	東京大学理学部生物化学科卒 東京大学理学部物理学科卒 東京大学大学院理学系研究科修了 (専攻:統計力学)
	加藤 信孝	東京医科歯科大学医学部医学科卒
	神永 達弥	京都大学理学部数学科卒 京都大学大学院理学研究科修了 (専攻:代数幾何学)
	小林 佑輔	東京大学工学部計数工学科卒 東京大学大学院情報理工学系研究科修了 (専攻:数理情報学)
	佐野 隆一郎	東京医科歯科大学医学部医学科卒
	清水 玄 (兼)	東京医科歯科大学医学部医学科卒
	根岸 菜由 (兼)	東京大学理学部生物化学科卒 東京大学大学院理学系研究科 (専攻:生物科学)
	森田 翔太郎	東京大学理学部数学科
	上家 和幸	東京工業大学総合理工学系研究科修了
	新谷 一人	東京大学大学院工学系研究科修了 (専攻:航空学)
	松永 響	東京大学工学部建築学科
	望月 駿汰 (兼)	東京工業大学理学院物理学系
	岸本 昌之	東京慈恵会医科大学医学部医学科
(TA)	杜 羽丹	東京大学教養学部理科II類
(TA)	杉山 さつき	日本医科大学医学部医学科
(TA)	吉松 孝彦	順天堂大学医学部医学科
(TA)	原田 瑠衣	東京慈恵会医科大学医学部医学科
(TA)	生駒 舜	東京大学教養学部文科II類
(TA)	西脇 駿之介	東京医科大学医学部医学科

国語科

主任	細川 雄一郎	東京大学文学部思想文化学科卒 千葉大学大学院文学研究科修了 首都大学東京大学院人文科学研究科 (専攻:言語哲学)
	久保田 俊樹	千葉大学文学部史学科卒 東京大学大学院人文社会系研究科 (専攻:ソ連東欧史)
	須藤 琴音	慶應義塾大学文学部人文社会学科

出入りが自由な講師室

講師スタッフは東大等の学生や研究者が中心です。大学受験のみならず、その後の大学生活もアドバイスします。

また、ヴェリタスでは、講師室への出入りを自由に行っていますので、自習室で自習に励む一方、講師室で講師への質問を行う人が多数です。時には臨時の補講となることもあります。担当講師以外でも様々な専門を持つ講師と自由に歓談できる場になっていますので、大学の現場の雰囲気を感じ取ってみてください。



理科

主任	小林 千騎	早稲田大学先進理工学部化学・生命化学科
副主任	根岸 菜由	東京大学理学部生物化学科卒 東京大学大学院理学系研究科 (専攻:生物科学)
副主任	永島 孝嗣 (兼)	東京大学医学部医学科卒
	藤井 元紀	東京大学理学部数学科卒
	池上 貴志	東京大学工学部化学システム工学科卒 東京大学大学院工学系研究科修了 (専攻:都市環境工学)
	益田 晃太	東京大学理学部物理学科卒 東京大学大学院理学系研究科修了 (専攻:ハドロン物理学)
	旦 誠之	東京大学工学部航空宇宙工学科卒 東京大学大学院工学系研究科修了 (専攻:航空宇宙工学)
	加納 篤	東京大学農学部水圏生命科学科卒
	永田 千尋	東京大学理学部物理学科卒
	石渡 通徳	早稲田大学理工学部応用物理学科卒 早稲田大学大学院理工学系研究科修了 (専攻:非線形偏微分方程式)
	野上 開	東京医科歯科大学医学部医学科卒
	西口 大貴	東京大学理学部物理学科卒 東京大学大学院理学系研究科修了 (専攻:非線形・非平衡物理学実験)
	清水 玄	東京医科歯科大学医学部医学科卒
	秋笛 清石	東京大学理学部物理学科卒 東京大学大学院理学系研究科修了 (専攻:量子情報)
	稲山 奈保美	早稲田大学先進理工学部応用化学科卒
	大野 巧作	東京大学理学部物理学科卒
	真島 壮平	東京大学薬学部卒
	南部 大	東京医科歯科大学医学部医学科
	望月 駿汰	東京工業大学理学院物理学系
	佐久間 海帆	お茶の水女子大学理学部生物学科
	成田 航	東京大学教養学部理科II類

英語科

主任	佐藤 香織	東京大学文学部思想文化学科卒 東京大学大学院人文社会系研究科修了 パリ西大学ナンテル校哲学科修了 (専攻:現代フランス哲学)
副主任	石本 蓮	東京農工大学農学部環境資源科
	織田 誠司	富山大学人文学部人文学科卒 東京都立大学社会科学系研究科修了 (専攻:社会人類学)
	久保田 愛	東京大学工学部建築学科卒 東京大学大学院工学系研究科修了 (専攻:意匠計画学)
	林 久則	東京大学文学部思想文化学科卒
	妹尾 暁暢	早稲田大学先進理工学部応用化学科卒 東京大学大学院工学系研究科 (専攻:化学生命工学)
	田中 創	東京大学文学部西洋史学科卒 東京大学大学院人文社会系研究科修了 (専攻:欧米系文科研究)
	三谷 梨々子	東京大学経済学部卒
	野崎 凜々子	上智大学経済学部経営学科
	小林 幸輝	東京大学文学部イタリヤ文学科卒 ノースウェスタン大学経営大学院卒
	中村 絢心	昭和大学医学部医学科
(TA)	西田 奎太	東京大学教養学部理科類
(TA)	砂田 将克	東邦大学医学部医学科
(TA)	田阪 樹羅	東京慈恵会医科大学医学部医学科
(TA)	長崎 舜	東京大学教養学部文科II類
(TA)	大場 千鶴	慶應義塾大学文学部人文社会学科
(TA)	請川 ひまり	昭和大学歯学部歯学科



永島 孝嗣  
VERITAS数学科主任講師  
VERITAS理科副主任講師  
東京大学医学部医学科卒



藤井 元紀  
VERITAS数学科副主任講師  
VERITAS化学部会責任者  
東京大学理学部数学科卒



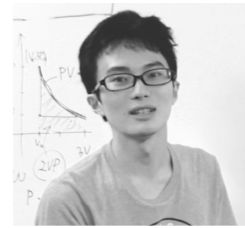
根岸 菜由  
VERITAS理科副主任講師  
VERITAS生物部会責任者  
東京大学理学部生物化学科卒  
東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻



石本 蓮  
VERITAS英語科副主任講師  
東京農工大学農学部環境資源科



谷道 正太郎  
VERITAS数学科主任講師  
東京大学理学部数学科卒  
東京大学大学院数理学研究科修了



佐々木 一洋  
VERITAS数学科主任講師  
東京大学教育学部総合教育科学科



妹尾 暁暢  
早稲田大学先進理工学部応用化学科卒  
東京大学大学院工学系研究科



南部 大  
東京医科歯科大学医学部医学科



細川 雄一郎  
VERITAS国語科主任講師  
東京大学文学部思想文化学科卒  
千葉大学大学院文学研究科修了  
首都大学東京大学院人文科学研究科



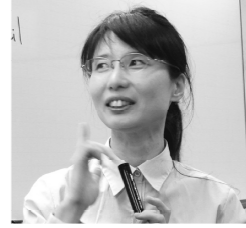
織田 誠司  
富山大学人文学部人文学科卒  
東京都立大学社会科学系研究科修了



清水 玄  
東京医科歯科大学医学部医学科卒



松永 響  
東京大学工学部建築学科



佐藤 香織  
VERITAS英語科主任講師  
東京大学文学部思想文化学科卒  
東京大学大学院人文社会系研究科修了  
パリ西大学ナンテル校哲学科修了



新谷 一人  
東京大学大学院工学系研究科修了



小林 千騎  
VERITAS理科主任講師  
早稲田大学先進理工学部化学・生命化学科



望月 駿汰  
VERITAS物理部会責任者  
東京工業大学理学院物理学系

受講生による講師紹介

- ◆織田先生はスヌーピーの絵が上手な易しい関西人。(H.M.さん)
- ◆細川先生は世の中の捉え方が一歩違っていて毎回感心する。(M.N.さん)
- ◆梅津先生は受験に限らず聞いてためになる話が多いです。(K.A.さん)
- ◆佐々木先生の授業はまじめに先生の計算ミスや皆で探る楽しいイベントが発生する。(J.S.くん)
- ◆永島さんの授業では、これまで経験したことがないほど集中する、という体験ができる。(K.M.さん)
- ◆佐々木先生は、たまに趣味と数学をからめてくる。(M.O.さん)
- ◆藤井先生はゆるキャラだけど、授業はゆるくない。(A.S.さん)
- ◆清水さんの授業はとにかく楽しい。物理のめやが晴れていく。(K.O.さん)
- ◆細川さんは、さっとスケールの大きいことや、ためになることを言う。(O.Y.くん)
- ◆森田さんの見た目はゆるゆるだけど、解法はゆるくない。(Y.H.さん)
- ◆石本さんは胎と鞭のような質問対応が素敵。(K.A.さん)
- ◆南部先生は医学部生のシュールな日常を話してくださるのでとても参考になるし、面白い。(M.S.くん)
- ◆佐藤先生は背景知識が多く、なるほどと思うシーンが多く楽しいです。(T.K.さん)
- ◆妹尾先生は授業に無駄が無い。(I.E.さん)
- ◆永島さんの解説聞くといつも「ハッ！」って目からウロコが落ちる。(R.I.さん)
- ◆小林さんは親しみやすいし、いつもヴェリタスにいるから質問しやすい。(K.O.くん)
- ◆松永先生の解説は生徒の発想を大事にしていて、とても理解しやすい。(O.I.くん)
- ◆藤井さんは、毛深い手からは想像できない繊細な字を書く。(E.S.さん)
- ◆清水先生の言動からは医学系研究者の毎日が垣間見える。(F.A.くん)
- ◆佐々木先生は、数学を身近なものとして関連させて教えてくれる。(F.T.さん)
- ◆永島さんはマジに教えようとしてくれるのが伝わってくるから、オレも真剣になれる。(N.K.くん)
- ◆望月先生の雑談は、マニアックでとても面白い!(O.I.さん)
- ◆西口先生は実は国際物理オリンピックメダリスト!!(Y.I.さん)
- ◆根岸さんは化学、生物、数学を全てこなす理系のスペシャリスト。やさしさが顔ににじみ出ている。(H.T.さん)



卒業生データ編

在籍者の2人に1人は、東大・京大・東工大 or 医学部へ進学しています。

1998年 4月～2019年 3月 第1期～第21期 卒業生総進学先

※進学先なので重複合格は含みません。



塾長のことば

梅津 英世 文学博士

子曰学而不思則罔思而不学則殆

「子曰く、学びて思はざれば則ち罔(くら)し、思ひて学ばざれば則ち殆(あやふ)し」

『論語』為政篇の一節です。これは、物事を学んでも、自分でそれについて深く考えてみなければ、本当の理解には到達しない、考えるだけで学ばなければ、独断に陥って危険である、ということを行っています。

「罔」とは、「学んだことの道理が、よくわからない。うすぼんやりして不確かなこと」を言います。儒家の祖、孔子は紀元前500年頃に、すでに学問について、このように述べていますが、現在の学校教育の中では、この「罔」状態が、学年が上がれば上がるほど増してしまっているのではないのでしょうか。

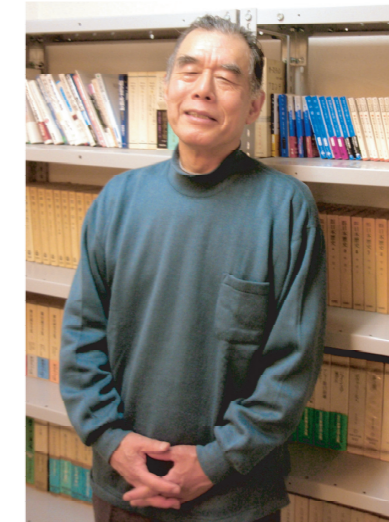
「罔」及び「殆」状態を、できる限り排除し、学ぶ為には何が必要か、自分で考えるとはどのようにすれば達成されるのか、このことを突き詰め続けるために存在しているのが、本学であるヴェリタスです。

この「罔」「殆」でない学びを実現するために、ヴェリタスとしての重要な指針があります。それは、「歴史を追うように学ぶこと」です。新しい概念を学ぶとき、先人がどのような過程を経て、その概念に至ったのかを体験し、新しい知識創成の動機を十分に共有した上で、概念把握を一步一步飛躍なく丁寧に行うこと、これこそ、自らで考えることが内発的に行われる道筋であると考えています。

自分をも他人へも理解をごまかさない学問的〈誠実さ〉、わき上がる疑問を感じそれを封じ込めない〈率直さ〉、自信過剰でも欠乏でもなく自らを偽らない〈等身大きさ〉といった基礎的作法は、その作法を体現する講師とともに、「歴史を追うように学ぶこと」で自然に身につけていくのだと実感しています。

孔子の言う学問とは、法治主義に抗して徳治主義を体現する実践活動を含むものですが、現代の学問とは少し異なるものです。しかし、ヴェリタスの〈場〉が、孔子が、荒れた春秋時代に、弟子達を連れて「仁」(=忠+恕)を説いて回った、あの行動に重なるよう努めたいと思っています。自らに厳しく、あくまでも誠実に、他者に対してはあくまで寛大に、処する集団。このような〈場〉と出会い、そして時期がきて卒業していく受講生達が、次の場である大学で同じ態度で学びそして研究を続けていく。むしろ、入学後にこそ、ヴェリタスで培った学問の作法方法が生きるのです。そして、卒業生が大学に通いながら、相談員として後輩を激励し、或る者は講師として後輩を教えに戻ってきます。個としてだけでなく、集団としてヴェリタスは存続しているのです。この集団が広く社会へとつながっていくことを願っています。

もっと、こうなりたい、という自然な願いを  
きっと、こうなれるだろう、と具体的なステップにもっていく、場として  
ヴェリタスがあります。



2017年～2019年卒業生 進学先判明分(全451名中403名報告あり) ※進学先なので重複合格は含みません。

<b>東京大学</b> 34名	<b>京都大学</b> 15名	<b>医学部医学科</b> 77名	<b>歯学部</b> 8名	<b>慶應義塾大学</b> 25名
理科Ⅰ類 10名		東京医科歯科大学 27名	東京歯科大学歯学部 2名	(医・薬・環を除く)
理科Ⅱ類 7名		東京医科歯科大学 1名	日本大学歯学部 2名	早稲田大学 29名
文科Ⅰ類 9名	<b>その他の国立大学</b> 43名	慶應義塾大学医学部 1名	ほか	(建築を除く)
文科Ⅱ類 5名	筑波大学(医を除く) 2名	東京慈恵会医科大学医学部医学科 9名	<b>薬学部</b> 12名	<b>その他の私立大学</b> 70名
文科Ⅲ類 3名	北海道大学(医を除く) 2名	順天堂大学医学部 4名	慶應義塾大学薬学部 3名	東京理科大学 21名
	千葉大学(医を除く) 8名	東邦大学医学部 5名	東京理科大学薬学部 1名	(薬・建築を除く)
	北海道大学(医を除く、獣2名を含む) 9名	東京医科大学医学部医学科 3名	北里大学薬学部 1名	上智大学 9名
<b>東京工業大</b> 12名	東京農工大学 2名	日本医科大学医学部医学科 5名	日本大学薬学部 1名	SFC 1名
<b>一橋大学</b> 10名	お茶の水女子大学 3名	昭和大学医学部 5名	帝京大学薬学部 1名	明治大学 7名
	東北大学(医を除く) 3名	東京女子医科大学医学部 4名	星薬科大学薬学部 1名	学習院大学 3名
	大阪大学 2名	聖マリアンナ医科大学医学部 1名	昭和三十九年薬学部 1名	中央大学(法1名含む) 2名
<b>歯学部</b> 2名	名古屋大学 2名	杏林大学医学部 3名	東京薬科大学薬学部 1名	芝浦工業大学 4名
東京医科歯科大学 1名	東京芸術大学 2名	帝京大学医学部 2名		国際基督教大学 4名
歯学部歯学科 1名	ほか	北里大学医学部 1名	<b>建築学科</b> 5名	法政大学 2名
広島大学 1名		東海大学医学部 1名	早稲田大学創造理工学部 3名	青山学院大学 2名
歯学部歯学科 1名		日本大学医学部 1名	東京理科大学理工学部 1名	立教大学 1名
		金沢医科大学医学部 1名	建築学科 1名	関西大学 1名
<b>薬学部</b> 1名		ほか	獣医学科 3名	同志社大学 1名
名古屋国立大学薬学部 1名			日本大学獣医学部獣医学科 1名	ほか
			麻布大学獣医学部獣医学科 2名	

国立大学 144名進学

私立大学 202名進学

# 2020年 受験科募集要項

**[募集対象]** 「こうすれば解ける」だけでなく、原理から学びたい  
 受験を利用して、将来必要になる能力を身につけたい  
 学問の片鱗を感じながら、自らの手でも創ってゆけるようになりたい

上記のような意志を持ち、せっかく学ぶなら、徹底的に深く、その結果として余裕をもって受験を通過するという事を望んでいる人を募集します。

## 申込の前に

### 受講生・卒業生を知る

指定校制などとはっていないため、在籍者は、私立・国公立を問わず様々な高校から通ってきています(詳しくは40ページの在籍者の高校一覧をご覧ください)。また、在籍者の志望大学は理系が全体の1/2、医系が1/4、国公立文系が1/4です(私立文系のみの方はほとんどいません)。卒業生の2人に1人が東大or医学部に進学しています。

一東大専門の塾ではないのですが、「この分野をやりたいの」「この先生がよいと思うので」この大学に行く、とはまだ決められない大半の高校生にとって、入学後に進路を決めることのできる東大は魅力的ではあります。

### 授業の資料を見る

過去の教材・ノート等を全て公開しています。そのため、自分が受講していない科目のテキスト・授業ノートも必要に応じてコピーすることが可能です。受講生の中には、このシステムを利用して受講していない科目を自習する人もいます。

**テキスト** …………… 受付にて、全てのクラスのテキストを閲覧することができます。

**授業ノート** …………… 講師室にて、昨年度的全授業のノートコピーを閲覧することができます。

## 人と会う

### ■担当講師

面談ができます。これからの一年間の為に、カリキュラム・授業の進め方どのように勉強すればよいかなど、どんどん聞いてみてください。(お電話にて、事前にご予約ください。)

### ■学習進路相談員

学習進路相談室にて、自分の目指している大学に通っている、もしくは自分と同じ出身校のヴェリタスの卒業生・学習進路相談員と話をすることができます。実際の大学の中がどのようになっているのか、どういう勉強を心がけたのかなど、何でも聞いてみてください。

学習進路相談員一覧はHPをご覧ください。(開室時間 月～金 16:00～・土 13:00～)

## 開講講座一覧

教科	クラス***	講師**	曜日	時間	定員	締切状況*	方式
数学	U 3・4 1組	松永 響	月	17:00～	30	△	選抜制
	U 3・4 2組	永島 孝嗣	月	17:00～	20	△	選抜制
	U 1・2 1組	佐々木 一洋	金	17:00～	40	△	選抜制
	U 1・2 2組	上家 和幸	金	17:00～	30	△	選抜制
	数III速習 1組	岸本 昌之・新谷 一人	日	16:45～	40	△	無試験
物理	P 1組	小林 千騎	土	18:00～	40	△	無試験
	P 2組	望月 駿汰	水	17:00～	20	△	無試験
化学	C 1組	藤井 元紀	火	17:00～	40	△	無試験
	C 2組	小林 千騎・成田 航	土	13:45～	20	△	無試験
生物	B	佐久間 海帆・根岸 菜由	土	18:00～	30	◎	無試験
英語	E A	佐藤 香織	木	17:00～	20	◎	選抜制
	E B	石本 蓮	木	17:00～	40	△	選抜制
	E C	小林 幸輝・西田 奎太	木	17:00～	20	△	選抜制
国語	L M	須藤 琴音	水	19:30～	20	◎	無試験
	L C	梅津 英世	水	17:00～	20	◎	無試験

自習室開室時間 朝 8:30～夜 22:30  
 平日・休日・祝祭日ともに(12/30～1/3を除く毎日)

\* 締切状況の記号の凡例は以下のとおりです。(2019.10.1時点)  
 ◎…… 募集人数に余裕があります。  
 △…… 昨年度の状況から、早期に定員締め切りが予想されるクラスです。  
 ×…… 定員締切  
 \*\* 講師・定員は変更となる場合もございます。ご了承ください。  
 \*\*\* 同一レベル内のクラスにつきましては増減の可能性がございます。

## 申込方法

選抜制科目	数学受験コース、英語受験コース
受講申込方法	1 クラス分け試験を電話申込(お申し込みは試験日の前日18時まで。単科での試験受験が可能です。) 2 クラス分け試験を受験(試験料は1科目につき1,000円となります。数学の試験範囲は[I、II、A、B全範囲]とします。) 3 受講認定書を受け取り、受講申込
クラス分け試験日程	■11月 2日(土) ■11月 9日(土) ■11月16日(土) ■11月23日(祝) ■11月30日(土) ■12月 7日(土) ■12月14日(土) ■12月21日(土)
時間	数学 14:00～16:30(150分間) 英語 17:00～18:30(90分間)
	※上記日程にどうしても都合が合わない場合は、お電話にてご相談ください。 ※クラスが定員に達し次第、それ以降の試験は中止となりますので、お早めのお申し込みをお願いします。

無試験制科目	物理、化学、生物、数III速習*、国語 受験コース	より詳しく知りたい・相談したいことがある
受講申込方法	1 電話にて申込書類を請求 2 受講申込(先着順の受付となります)	担当講師と直接、面談、もしくは電話での学習相談ができますので、受付までご予約ください。塾の雰囲気を知りたい方は是非ご来塾ください。
	*数III速習コースに関しては、数学受験コース本科との併用受講を基本としています。 数III単科受講ご希望の方も、現時点でのレベルの確認という意味で、できる限り数学クラス分け試験を受験してください。	

## 受講料 (消費税10%を含みます。税率変更の場合、その差分が以降加算されます。)

受講料にはテキスト代等すべて含まれています。なお、入塾時に入会金33,000円をあわせてご納入ください。(納入は学期単位です。春学期 1～3月 夏学期 4～8月 冬学期 9～12月)

	春学期		夏学期		冬学期	1時間あたりの授業料(税抜)
	1-2月	3月(春期講習)	4～7月	8月(夏期講習)	9～12月	
数学U4	59,400円(36h)	理系49,500円(30h)	118,800円(72h)	33,000円(20h)	118,800円(72h)	1,500円
数学U3,U2,U1		文系16,500円(10h)		49,500円(30h)		
数III速習	52,800円(32h)	49,500円(30h)				
物理	52,800円(32h)	33,000円(20h)	105,600円(64h)	66,000円(40h)	105,600円(64h)	
化学		16,500円(10h)		33,000円(20h)		
生物		16,500円(10h)		16,500円(10h)		
英語	59,400円(36h)	33,000円(20h)	118,800円(72h)	33,000円(20h)	118,800円(72h)	
国語	52,800円(32h)		105,600円(64h)	105,600円(64h)		

※国語は、現代文・小論文のみ、古文・漢文のみの受講も可能です。  
 ※3科目以上受講の場合、3科目目以降の科目の受講料の割引制度がございます。  
 ※理科を2科目受講した方は、3科目目(例えば、物理・化学を受講した場合、生物)を無料で受講できます。

**交通アクセス**

丸ノ内線 本郷三丁目駅 徒歩 0分 (夜安全ですので推奨)  
 大江戸線 本郷三丁目駅 徒歩 1分 (夜安全ですので推奨)  
 千代田線 湯島駅 徒歩 9分  
 三田線 春日駅 徒歩 6分  
 南北線 後楽園駅 徒歩 7分  
 JR線 御茶ノ水駅 徒歩10分  
 JR線 御徒町駅 徒歩15分 (夜は危ないので推奨しません)

主要ターミナル駅からの時間：池袋から 丸ノ内線で10分  
 新宿から 大江戸線で14分  
 東京から 丸ノ内線で7分

**校舎**

1号館 - 学習進路相談室・教室・自習室  
 2号館 - 【受付】講師室・教室・特別自習室

**受付時間・TEL**

●学期の変わり目、集中授業期間は受付時間が異なります。  
 月～金 15:30～20:30 土 13:00～18:00 **TEL.03-3811-9640(代表)**  
 12月25日～29日 10:00～18:00 12月30日～1月3日 休業 1月4日～ 通常通り

【受付】東京都文京区本郷2-40-1 丸ノ内線 本郷三丁目駅ビル(1.2階は薬局)

**URL** <http://www.veri.co.jp/>

# VERITAS

VERITAS

Tokyo Pure Science and Philosophy Society. since 1998

Philosophy Society. since 1998